

令和5年度 ま と め 誌

あしあと



総 会



成人教育委員会

磐田市PTA連絡協議会

目 次

	頁
「磐田の教育で大切にしていきたいこと	1
「つながりを深め、学びを進化させる」	2
令和5年度 磐田市PTA連絡協議会 会計予算書	3
令和5年度 磐田市PTA連絡協議会 事業報告	4
令和5年度 磐田市PTA連絡協議会 主な事業から	6
・ 専門委員会研修報告（成人・広報・校外生活・家庭教育）	7
・ 磐田市PTA研修会 分散会記録	9
（発表： 青城小・磐田南小・竜洋東小・豊田中・向陽中）	
・ 市P連アピール（スマホ・祭典）	14
令和5年度 各单位PTAの活動報告	16
・ 磐田北小学校 PTA	17
・ 磐田中部小学校 PTA	19
・ 磐田西小学校 PTA	21
・ 磐田南小学校 PTA	23
・ 東部小学校 PTA	25
・ 大藤小学校 PTA	27
・ 向笠小学校 PTA	29
・ 長野小学校 PTA	31
・ 岩田小学校 PTA	32
・ 田原小学校 PTA	34
・ 富士見小学校 PTA	35
・ 福田小学校 PTA	37
・ 豊浜小学校 PTA	38
・ 竜洋東小学校 PTA	40
・ 竜洋西小学校 PTA	42
・ 竜洋北小学校 PTA	44
・ 豊田南小学校 PTA	46
・ 豊田北部小学校 PTA	47
・ 青城小学校 PTA	49
・ 豊田東小学校 PTA	50
・ 豊岡南小学校 PTA	51
・ 豊岡北小学校 PTA	53
・ 磐田第一中学校 PTA	55
・ 城山中学校 PTA	57
・ 向陽中学校 PTA	58
・ 神明中学校 PTA	60
・ 南部中学校 PTA	62
・ 福田中学校 PTA	63
・ 竜洋中学校 PTA	65
・ 豊田中学校 PTA	66
・ 豊田南中学校 PTA	68
・ 豊岡中学校 PTA	70
・ 磐田東中学校 PTA	72

磐田の教育で大切にしていきたいこと

磐田市教育委員会 教育長 山本敏治

磐田市 PTA 活動に、御尽力をいただき、誠にありがとうございます。今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症法の位置づけが、2類から5類に移行され、それまであった様々な制約が少しずつ緩和されてきました。市内各小中学校では、教育の転換点の中で、コロナ禍3年間の経験知を踏まえ、単にコロナ禍前に戻すのではなく、「何のための教育活動か？」を問い、教育活動の見直し、改善を図ってきました。PTAの活動においても、8月の磐田市PTA研修会での分散会の実践発表や協議では、「子どもたちの健全な育成を図る」等を目標に、持続可能なPTA組織の在り方や参加しやすい活動の在り方等について、ご検討くださっている様子を伺うことができました。本当にありがとうございます。

～「磐田市教育大綱」の理念～

昭和の時代の教育者、東井義雄先生の著書に「培其根」があり、その中に、「根を養えば、樹は自ら育つ。」等、先生の教育に対する思いや願いが綴られています。

「いのちを培う」「誇りを培う」「礼節を培う」「敬愛を培う」「感謝を培う」「こころざしを培う」の6つの項目に集約された磐田市教育大綱は、全て「～を培う」と表現されており、この「培其根」の理念が込められています。この6つの項目には順序性があり、一人の人間としての絶対的価値である「いのち」がまずあり、その一人の人間が前進し成長していくためには「誇り」(自己肯定感)を培う必要がある。さらに、「人と人とのつながり」の中で、「礼節」「敬愛」「感謝」を培い、最後には、自分の夢や希望に向かうというだけではなく、世のため人のために尽くすことが最高の幸せであるという意味で「こころざし」をおき、そんな思いに向かって生きる人間を育成していきたいという願いが込められています。

～「自ら考え判断し行動する力」育成のための主体的な学び、自己決定の大切さ～

これからの変化の激しく将来の予測が難しい時代の中を、たくましくしなやかに生き抜いていくためには、「自ら考え判断し行動する力」を身につけていくことが必要です。そのためには、学校はもとより、家庭、地域など、子どもたちが生活している様々な場面において、「人、もの、こと」に子ども自らが主体的にかかわり、体験的、経験的に気づき学んでいくことのできる環境づくりが大切になってきます。その環境は、教育大綱の理念を具現することにもつながります。様々なものに自分事として主体的にかかわり、自己決定を積み重ねていく中で、子どもたちは「誇り」(自己肯定感)を培い、それが様々なことに挑戦しようとする意欲につながります。

PTAの皆様とともに、子どもたちの「育つ力」を信じ、子どもたちに任せる場面を意図的、計画的に設けるなど、子どもたちの主体性を尊重した教育を今後も進めていきたいと考えています。1年間、本当にありがとうございました。

つながりを深め、学びを進化させる

磐田市 PTA 連絡協議会 会長
所属 PTA 大藤小学校
齋藤 純

まず初めに、日頃より磐田市 PTA 連絡協議会（市 P 連）の活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。令和 5 年 5 月より新型コロナウイルスが 2 型から 5 型に移行したことで、昨年と比べて市内の多くの小中学校で学校行事や地域行事が増え、人と人のつながりを取り戻す機会が増えたのではないかと拝察します。長いコロナ禍を経て、得られた知見が今後の PTA 活動を見直す動きに繋がってきていると実感しています。

しかしながら、コロナウイルスに対処する中で、他にも気にかかることがあります。現在、能登地震などの自然災害が各地で発生しており、今回、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。私たちは地域の安全対策や防災訓練にも力を入れ、共に備えていくことが大切になります。

さて、我々、市 P 連では昨年度から引き続き、一部の専門委員会では Zoom を活用し、平日夕方の忙しい時間帯にも参加しやすいように、インターネット環境さえあれば、場所を選ばずに、スマホ一つで講義に参加できるようになりました。これに至るまでには、試行錯誤を繰り返し、市 P 運営側の事務局だけでなく、参加者側のオンライン講義への柔軟な対応が必要でした。その結果、オンラインスタイルを確立し、PTA での新しい学び方を生み出すことができました。

私自身、今回初めて市 P 連に携わる中で、運営をどのように進めるかに戸惑うことがありました。そんな時に、会長としてできることは何かを考えたところ、市 P 連の運営目的である「単位 PTA の情報共有と相談の場を提供すること」の原点に立ち返り、まずは自らの PTA 知識を増やし、市 PTA 運営についての学びを深めることを決意しました。そのために、日本 PTA 大会（山形県/広島県）、関東大会（千葉市）に参加し、市や郡 P 運営の方々とのディベート形式で問題点を議論することで、課題を共有し、同じ悩みを共感できる仲間を見つけ、人と人のつながりを築くことができました。そして、PTA を通して今の時代に必要な多様性の理解を深め、世代や職種、出身地が様々な価値観をもった大人たちが協力して、子どもとともに学びを続け成長することの重要性を実感しました。

最後に、1 年間、会長の重責ではありましたが、私の意見を取り入れていただき、楽しみながら活動することができました。これは磐田市 P 連事務局、市 P 連役員の皆様のサポートのおかげです。次年度は新しい会長にバトンタッチし、新しい形の PTA を築いてくれることを祈念しています。

令和5年度 磐田市PTA連絡協議会会計予算書

収入総額 2,406,000円
 支出総額 2,406,000円

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考	(参考) 令和4年度決算額
1 繰越金	466,661	796,902	△ 330,241	前年度繰越金	796,902
2 会費	1,068,480	1,089,840	△ 21,360	13,356人*80円 267人減	1,089,760
3 補助金	859,000	859,000	0	磐田市70万、磐周15.9万	308,980
4 雑収入	11,859	12,258	△ 399	書損じハガキ手数料等	12,076
5 繰入金	0	0	0		0
合計	2,406,000	2,758,000	△ 352,000		2,207,718

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考	(参考) 令和4年度決算額
1 会議費	130,000	148,000	△ 18,000	市P連総会費50,000 参加費(日P:10,000×4人、関P: 10,000×4人)	68,700
2 負担金	667,800	681,150	△ 13,350	県P連負担金 13,356人×50円	681,100
3 事業費	1,080,000	1,180,000	△ 100,000	PTA事業助成金800,000、専門 委員会謝礼80,000、まとめ誌 150,000、市P研50,000	571,783
4 旅費	360,000	560,000	△ 200,000	日P広島大会55,000×4人 関プロちば大会31,000×4人他	314,485
5 事務費	35,000	15,000	20,000	振込手数料、名刺代、携 帯使用料、用紙代ほか	24,989
6 準備積立金	0	0	0		0
7 県P磐田大会費	0	0	0		0
8 予備費	133,200	173,850	△ 40,650		80,000
合計	2,406,000	2,758,000	△ 352,000		1,741,057

※ ただし、各項目間の流用を認めるものとする。

令和5年度 磐田市PTA連絡協議会事業報告

月	日	曜	事業名	開催P連	主な内容
4	19	水	第1回理事会	市P連	組織立上げ、会長会・総会にむけて ※ワークピア磐田 18名参加
			市P連専門委員長会	市P連	事業計画について ※ワークピア磐田 会長・副会長4名参加
5	12	金	豊田地区会長会	豊田地区	活動方針、情報・意見交換
	19	金	県P理事会・総会	県P連	役員・予算・事業等の承認 ほか ※県教育会館 市P連会長参加
	20	土	市P連総会	市P連	役員・予算・事業等の承認 ほか ※ワークピア磐田 各校2名参加
			第1回会長会	市P連	組織・総会、充て職の決定 ほか ※ワークピア磐田
			磐田地区会長会	磐田地区	活動方針(LINE オープンチャットによる随時情報交換) ※ワークピア磐田
			福田地区会長会	福田地区	活動方針(LINE による随時情報交換) ※ワークピア磐田
			豊岡地区会長会	豊岡地区	活動方針(LINE による随時情報交換) ※ワークピア磐田
25	木	広報委員会	市P連	講話：「広報紙づくりのポイント」 講師：磐田市企画部広報広聴・シティプロモーション課 課長補佐 寺田尚人 氏 ※Zoom 開催 26人参加	
6	14	水	第2回理事会	市P連	実施事業振り返り、PTA事業助成金、市P研修会等について ※ワークピア磐田 14名参加
	16	金	第1回事務局長会議	県P連	県P事業計画説明・西P連打合せ ※県教育会館 事務局参加
7	1	土	第1回地区P連会長・家庭教育委員長研修会	県P連	県P連と教育団体の関わり ※県教育会館 家庭教育委員長参加
	7	金	豊田地区会長会	豊田地区	情報・意見交換
	26	水	第2回会長会	市P連	実施事業振り返り、PTA事業助成金、市P研修会等について ※ワークピア磐田 40名参加
8	12	土	豊岡地区会長会	豊岡地区	各校役員・CSC 懇親会 議題：学校清掃
	17	木	第3回理事会	市P連	市P研修会運営 ほか ※メール対応等可能なため開催中止
	25	金	第71回日本PTA全国研究大会(広島大会)	日P連	全体会(記念講演：黒川伊保子氏)・分科会(10分科会) ※広島市、呉市 ほか 市P連会長・副会長2名参加
	26	土			全体会 実践発表(5校) ※竜洋なぎの木会館 71名参加 発表校：青城小、磐田南小、竜洋東小、豊田中、向陽中
27	日	市PTA研修会	市P連	全体会 実践発表(5校) ※竜洋なぎの木会館 71名参加 発表校：青城小、磐田南小、竜洋東小、豊田中、向陽中	
9	27	水	家庭教育委員会	市P連	講話：「自己肯定感をグッと高める子どもへの接し方」 講師：NPO法人スポーツコミュニティ磐田 ポラスター 永田厚 氏 ※Zoom 開催 31名参加
	30	土	竜洋地区会長会	竜洋地区	学府総務懇親会
10	18	水	成人教育委員会	市P連	グループワーク ※講師の都合につき延期
	28	土	日本PTA関東ブロック研究大会(ちば大会)	日P連	全体会(記念講演：鈴木おさむ氏)・分科会(7分科会) ※千葉市 市P連会長・東部小副会長2名参加
29	日				
11	1	水	校外生活指導委員会	市P連	講話：「小中学生の交通事故防止と家庭や学校で行う安全教育」 講師：静岡県交通安全協会 磐田地区 交通安全指導員 長島ひとみ 氏 ※Zoom 開催 28名参加
	17	金	豊田地区会長会	豊田地区	情報・意見交換

月	日	曜	事業名	開催P連	主な内容
11	22	水	第2回地区P連会長・家庭教育委員長研修会	県P連	講話：杉山順子先生（牧之原市立川崎小学校 校長） ※県教育会館 市P連会長・家庭教育委員長欠席
	28	火	豊岡地区会長会	豊岡地区	LINEによる情報交換
	29	水	第4回理事会	市P連	実施事業振り返り、「あしあと」編集案 ほか ※ワークピア磐田 14名参加
12	13	水	成人教育委員会	市P連	講話：「コロナ禍後・今の時代に合ったPTAの在り方について考える」 ※iプラザ 27名参加 講師：静岡産業大学 スポーツ科学部 松永 由弥子 氏
1	24	水	第2回事務局長会	県P連	県P事業実績・次年度計画説明・西P連打ち合わせ ※県教育会館 事務局参加
2	2	金	豊田地区会長会	豊田地区	新旧引継ぎ会
	20	火	豊岡地区会長会	豊岡地区	新旧引継ぎ会
3	1	金	第5回理事会（引継）	市P連	新旧役員引継、R6事業計画 ほか ※ワークピア磐田
			福田地区会長会	福田地区	新旧引継ぎ会
	26	火	会計監査	市P連	R5会計監査（会長・会計・監査2人） ※市役所 4名参加

- ・日本PTA全国協議会主催 「三行詩への応募」：139点
- ・県PTA連絡協議会主催 「携帯・スマホに関する標語コンクールへの応募」：971点
- ・県PTA連絡協議会主催 「書き損じはがき集め」：1,539枚

令和 5 年度

市 P 連
主 な
事業 から

- 1 専門委員会研修報告
- 2 磐田市 P T A 研修会 分散会記録
- 3 市 P 連アピール（スマホ・祭典）



家庭教育委員会

専門委員会研修報告 {成人教育委員会}

【日 時】 令和5年12月13日(水) 19:00~20:30 iプラザ ふれあい交流室 対面開催

【講 話】 「コロナ禍後・今の時代に合ったPTAの在り方について考える」

【講 師】 松永 由弥子 氏 (静岡産業大学 スポーツ科学部教授)

【参加者】 27人

【内 容】

PTAの設立経緯、時代背景、法的根拠などからPTAの目的について再確認。世間ではPTA組織について、必要ない、やめてしまえ、裁判沙汰など問題点が挙げられ、PTAの必要性や問題点の確認をすることで『磐田市にとってより良いPTA活動、今の時代に合ったPTAとは何か』を対面によるグループワークを通じて検討・共有することで各単Pの活動、市P連の今後の活動の参考になる事を目的に実施した。

講師講話では日本人の民族性やPTAの目的、PTAは子供を中心とした年代の違う親の集まりであり、年代を超えた繋がりからお互いを理解する社会教育の場であることをお話し頂き、問題点として、理念と現実のギャップがある事、組織構造より時代に合わせた変化が起きにくい組織であることを再確認した。

【参加者の感想等】 グループワーク報告より

<良かったこと>

子供をきっかけに人の繋がりが持てた。学校行事をより深く知ることが出来た。色々な人や先生と知り合えた。横の繋がりが出来た。

<困ったこと>

仕事との両立が難しい。人選が難しい。過去と同じことを繰り返している。成り手がいない。PTA活動が不透明。押し付け合い。役員だけ忙しい。生徒数減少。

<課題解決の方向性>

活動の再検討、削減。地域との関りを増やして協力してもらう。公平性。全員が参加。楽しくて楽なPTA活動にしていく。PTA+C(地域で子供を育てる活動)。やりがい。意見交換。対面も大事。納得性。単年ではなく複数年で関わる。など

専門委員会研修報告 {広報委員会}

【日 時】 令和5年5月25日(木) 19:00~20:10 Zoomによるオンライン開催

【講 話】 「広報紙づくりのポイント」

【講 師】 寺田 尚人 氏 (磐田市企画部広報広聴・シティプロモーション課 課長補佐)

【参加者】 26人

【内 容】

磐田市の広報担当として広報紙「広報いわた」の作成に携わっています寺田様よりPTA新聞などを作る際の参考になる講話を開催しました。

・分かりやすい紙面とは。

一見で、どんな内容かわかる。見る、読む順番がわかりやすい。情報が整理されている。

・読んでもらえる紙面とは。

大きい文字、写真にこだわらず余白をもたせる。レイアウトをバランスよく統一性をもたせる。

【参加者の感想等】

・リモートだったため、仕事をしている人は参加しやすかったと思う。普段広報を見ているためイメージしやすかったし、素人でもわかりやすい内容で良かった。

・分かりやすい内容で、広報紙だけでなく、仕事にも役立つ内容だった。

・記事の書き方や写真の撮り方など、とてもわかりやすく、実際に使ってみようと思った。しかし、双方向タイプの研修ではなかったので、録画したものを見る方法でも良かったかなと思った。

・広報誌の第一号は既に原稿投稿してしまいましたが、校正が戻って来たときにポイントを再確認して作り直そうと思う。

専門委員会研修報告 {校外生活指導委員会}

【日時】 令和5年11月1日(水) 19:00~20:05 Zoomによるオンライン開催

【講話】 「小中学生の交通事故防止と家庭や学校で行う安全教育」

【講師】 長島 ひとみ 氏 (静岡県交通安全協会 磐田地区支部 交通安全指導員)

【参加者】 28人

【内容】

◆子供の成長と共に変化する生活環境や移動手段、子供の年齢による特性等を踏まえた交通安全教育について講話を頂いた。

- ・磐田市内の小中学生の交通事故発生状況
- ・通学路で見られる危険な行動と実際の磐田市内の通学路上の危険箇所
- ・車の運転者目線と歩行者目線での見え方の違いや車に子供を同乗させる際の注意事項
- ・自転車の安全点検方法や道路交通法、交通事故後の対応の仕方

【参加者の感想等】

- ・動画や写真が多く、ヘルメットの大切さや市内の危険箇所、危険理由が分かりやすかった。
- ・交通事故に遭わないためのポイントや万一の事故後の対応の仕方について、子供の年齢を踏まえた指導例があり、指導の必要性に気付いて良かった。
- ・『車でシートベルトをする際はランドセルを降ろそうね』など、家族で交通安全について話し合うきっかけとなった。

☆アンケートに通学道路脇の草が多く道路端を通行できないとの声があり、それを見た交通安全協会の方が現地確認され安全確保対応して頂きました。

専門委員会研修報告 {家庭教育委員会}

【日時】 令和5年9月27日(水) 19:00~20:30 Zoomによるオンライン開催

【講話】 「自己肯定感をグッと高める子どもへの接し方」

【講師】 永田 厚 氏 (NPO法人 スポーツコミュニティ ポーラスター)

【参加者】 31人

【内容】

- ・子どもたちに大切なこと
- ・昔話「うさぎとかめ」から学ぶこと
- ・自己肯定感の構造
- ・自己肯定感を高める3つのポイント
- ・子ども達の話声を聞こう(傾聴する)
- ・話しやすい相手とは

【参加者の感想等】

- ・子どもと接する時に意識すべき点など、学ぶことが多く参考になった。傾聴や、話しやすい雰囲気作りを意識し、自己肯定感を高められるような親、大人でありたいと思う。
- ・子どもの自己肯定感が低いのは、やはり自分の対応にあったことが分かった。親として、自分の子供に対する接し方に気を付けたいと思う。
- ・子ども達の話声を聞くことに、肯定も否定もしないこと。質問し過ぎない方がいいと知ることができた。人と比較しない、結果ではなく頑張った過程を認める。褒めることの大切さを再認識した。

分散会記録用紙

第 [1] 分 散 会 記 録	
発表P名 [青城小学校 PTA]	発表者名 [飯尾謙也 会長]
司会者名 [豊田南小 PTA 松島克浩]	記録者名 [豊田南小 PTA 安藤理美]
概 要	
<p>1：開会挨拶</p> <p>2：自己紹介</p> <p>3：実践発表 青城小学校の概要と活動内容発表</p> <p>4：事前アンケートにおける質問に関して</p> <p>Q、自分の小学校では学級 P も全員委員会に所属しているが、青城小では委員会活動は常任委員だけで担われているのか？</p> <p>A、常任委員会の 19 人のみで委員会を運営。学級 P は学年委員としての活動のみ。</p> <p>Q、組織のスリム化も検討が必要とあるが、何か具体的な案があるのであれば教えてください。</p> <p>A、PTA 新聞を2回の発行を1回にしている。生徒の個人情報の観点で制限がかかる。新聞発行をしていない学校もあるようである。時代背景から見直す部分ではあると考えている。</p> <p>5：質疑応答</p> <p>Q、PTA 新聞に関して 他の小学校はどうしているか？</p> <p>A、・発行は年2回。先生の紹介と1年の活動報告。時間・コスト削減につながるので、コドモンを新聞の活動として利用していくという意見がある。学校からの手紙と内容が被ることがある。</p> <p>・発行は年1回。先生の紹介を7月に新聞発行。活動に関してはコドモンで配信。紙面でこどもが集めて楽しみにしていることもあるので廃止はしない。労力を要するので、誰も委員をやってくれない状態になってしまった。内容の簡潔化も検討。</p> <p>・昨年廃止。個人情報の面に関しては、上手く顔をぼやかしてホームページに掲載。廃止された後の意見やその後の不具合は特にない。広報部も廃止した。</p> <p>Q、コドモンを使用するに当たって、利用に関する意見を頂きたい。</p> <p>A、学校だけでなく地域にも配るもの。PTA 新聞の本来の目的を考えなければならない。地域とのコミュニケーションの取り方、先生の負担面も考えて作成していく必要あり。写真の掲載に関しては学校により差がある。</p> <p>Q、学校の掃除はどのようになっているか？週2回で現在は行っているが学校が汚い。保護者が毎週掃除のボランティアに行っている。衛生上よくない。自宅の掃除と異なる。使わせてもらっているものに対して行うもの。そういうことも学校生活で学んで欲しい。</p> <p>A、サポーターの募集あるが掃除のボランティアはない。生徒が昼休みの終わりに毎日10分行っている。ボランティアはあるが管理はPTAで実施していない。あまり汚いと感じたことがない。</p> <p>Q、会長の選出方法はどのようにおこなっているか。</p> <p>・くじびき ・役員による選出 ・立候補者を募ってから選出 ・昨年選考基準を作成。免除・配慮はこういった形で行うというものを総会資料で全員に配布した。・PTA 活動はお金を払って行えるものではないので立候補した。</p>	

分散会記録用紙

第 [2] 分 散 会 記 録	
発表P名 [磐田南小学校PTA]	発表者名 [西井大索 会長]
司会者名 [長野小 PTA 石代貴義]	記録者名 [長野小 PTA 藤間真織]
概 要	
<p>1：開会挨拶</p> <p>2：自己紹介</p> <p>3：実践発表 磐田南小の概要と活動内容の紹介 PTA 組織の必要性の見直し…保健体育部の廃止検討 R7 年度 創立150周年…内容と計画について</p> <p>4：協議</p> <p>①児童、生徒数の増減における現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数増→災害対策のためにも連携の必要性（富士見小） ・災害時のボランティア・地域のありがたみ（豊岡北小） ・中学校へ進学後の地域部活（中部小・磐田南小・南部中・豊岡北小） ・校内の清掃活動（豊田北部小） <p>②次年度の役員選出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名制（中部小・磐田北小） ・投票制の後、役員による電話交渉（多数） 決まらない場合は対象家庭に集ってもらい話し合い。もしくは、くじにより決定。 ⇒これで良いのか疑問を感じる学校が多数。 ・任期1年（竜洋西小） ・任期3年（中部小） 	

分散会記録用紙

第 [3] 分 散 会 記 録	
発表P名 [竜洋東小学校PTA]	発表者名 [堀内大義 会長]
司会者名 [竜洋西小PTA 土屋利光]	記録者名 [竜洋北小PTA 鈴木俊介]
概 要	
<p>参加人数：予定人数 13 名のうち 12 名</p> <p>1.開会挨拶</p> <p>2.自己紹介</p> <p>3.実践発表</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 学校紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 竜洋東小学校の歴史について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 創立 150 周年記念ウィークの内容について</p> <p>4.組織について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) PTA 組織について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 役員選出方法について</p> <p>5.成果と課題</p> <p>質疑応答</p> <p>Q1：選出方法についてのイメージがわからない（内容の確認）</p> <p>A1：5 年生になる児童の保護者から副会長 3 名選出（選出時期は児童が 4 年生の時）</p> <p>Q2：会長候補選出について（内容の確認）</p> <p>A2：副会長選出後、PTA 役員を経験してから年度末付近で会長を選出する。</p> <p>Q3：A2 の実践での内定者はいないか？</p> <p>A3：本年度からの取り組みのため、まだいない。</p> <p>Q4：A2 の実践で 3 名とも会長が難しいとなった場合は？</p> <p>A4：前年度までの副会長を決めた日にくじ引き等で会長を決める方法と変わらない旨を伝え、実際にやってみてから決めてみるのがいいのではないかと思います、まずやってみるという方向で取り組んでいく。最終的に 3 名とも厳しいとなったらあみだくじというのも伝えていく。</p> <p>※各学校の選任方法を発表</p> <p style="padding-left: 20px;">【高橋晃太 市 P 連副会長より】</p> <p>PTA 活動において役員選考に対し、重きを置いている。PTA 役員を自主的に受ける人はあまりいないと思う。けれども実際に PTA 活動をやってみて、充実していないか？その部分を次の役員選考時に伝えられれば、PTA に対する考え方も変わってくるのではないかと。その伝える方法、アイデアを実践できればいいのではないかと思います。</p> <p style="padding-left: 20px;">【司会より】</p> <p>各学校のいいところや真似できそうに変えていけるところは変えていければ、いいかと思う。</p>	

分散会記録用紙

第 [4] 分 散 会 記 録	
発表P名 [豊田中学校PTA]	発表者名 [鈴木善恵 副会長]
司会者名 [磐田第一中PTA 佐藤孝洋]	記録者名 [豊田南中PTA 高梨和司]
概 要	
<p>1：開会挨拶 2：自己紹介</p> <p>3：実践発表 学校沿革、学区の概要、学校・施設紹介、PTA活動紹介</p> <p>4：質疑応答</p> <p>Q：豊田北部小と豊田中学校の一体校ということだが、学校運営・PTAはどうなっているか。一体校であるメリットとデメリットを教えてください。</p> <p>A：一体校ではあるが、小学校と中学校が同じ敷地に別々にあるイメージ。PTAも小学校と中学校で別組織。学校行事としての運動会・体育大会や参観会などは小中で別日程、PTA行事としての資源回収も別日程にて実施。音楽祭のみ同日開催している。駐車場の物理的に足りないため、現状ではそのようにせざるを得ない。それでは一体校のメリットがないと思われるかもしれないが、現状では以下のような好事例もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生になる時点で小学校の先生が同じ校舎にいる安心感（教師同士の連携も可能） ・中学生が小学生に色々なことを教える体験ができる ・ながふじホールに全校児童・生徒が集まりイベントができる →紙飛行機、ぼっちゃ大会等のイベントを通じ、小・中の子供達に一体感が生まれる <p>小・中の行事を一緒にやることでの教育効果を狙っていくことは当然大事であると考えている。学校行事の小・中同日開催が実現できれば、PTAも小・中合併を考えていく。</p> <p>Q：ながふじ学府として将来的に豊田東小も一緒になると聞か現状の課題は。</p> <p>A：教室がすでに満杯であり、現状では見通しが立っていない。通学手段の考慮も必要。</p> <p>Q：小中一体校ということで、子供たちの心のケアに関して問題点はないか。</p> <p>A：校舎の作りが旧来型の学校のものとは大きく異なり、校舎から外の景色の眺めもよく非常に開放的。子供達が日々清々しい気分で学習できる環境が整い、精神衛生上も良い状態となっている。学習障害を抱える児童・生徒（他校も受入れ）への対応も丁寧に出来ている。</p> <p>[意見交換会]</p> <p>Q：本校PTAでは夜間巡視と祭典後の見廻りしているが、他にされているところはあるか。</p> <p>A：以前はあったが廃止した、祭典は地域に任せているなど、実施している単Pは他になし。</p> <p>A：本校PTAでは役員半減を目指し、活動を見直している。広報誌発行をやめてPTA会費を¥500安くできた。委員会を合併するなど組織をスリム化し、保護者負担が出来るだけ少なくなるように努力している。</p> <p>Q：PTA総会は各校どのように実施しているか。</p> <p>A：代議員制（各学級2名）1校、体育館に全員集合3校、本部から各教室へ中継5校。議案書のコドモンでの配布、表決のgoogleフォームでの実施などの工夫が紹介された。</p>	

分散会記録用紙

第 [5] 分 散 会 記 録	
発表P名 [向陽中 学校PTA]	発表者名 [稲垣 尚之]
司会者名 [福田中PTA 森下 巧]	記録者名 [城山中PTA 畑山 正明]
概 要	
<p>1.開会</p> <p>2.自己紹介</p> <p>3.実践発表 向陽中学校の概要とPTA活動状況の報告</p> <p>4.質疑応答</p> <p>Q.専門部を廃止したことによるメリット、デメリットは？</p> <p>A.メリット：保護者の負担減、デメリット：先生とのコミュニケーションが減少。意見交換の場「なんでも相談会」を開催。オープンチャットの利用は、学校側の動きが悪く進んでいない。</p> <p>Q.なんでも相談会で出た意見が纏まったらどうするのか？ その周知方法や先生は？</p> <p>A.先生は席を外してもらい、纏まった意見は支部員まで下ろし情報共有している。</p> <p>Q.専門部を廃止したことで保護者から不満は出なかったのか？</p> <p>A.不満は出ていない。</p> <p>Q.本部役員の負担は増えていないのか？</p> <p>A.増えていない。入学式・卒業式・体育祭の挨拶も廃止した。</p> <p>Q.専門部がないと資源回収はどのように行っているのか？</p> <p>A.ボランティアを募り開催している。ボランティアも集まりが良い。</p> <p>Q.資源回収の在り方について</p> <p>A.平日に回収を行っている。校内に屋根付きの回収コンテナを設置し、土日のみ回収する方向で検討中。参観会に合わせて持ってきてもらうのはどうだろうか。年1回の回収とし、減収分は会費を上げたらどうか。常時、アルミ缶のみ回収したらどうか。自己搬入に切り替える。</p> <p>Q.PTA新聞について</p> <p>A.廃止。(3校) 発行を年2回から1回に減らした。写真は先生が撮り、作成は広報委員で行う。紙面で配布。(2校) PTA新聞以外ではバザーを廃止。時代に合った活動を行っている。</p> <p>Q.PTA組織、本部役員の選考方法について</p> <p>A.指名制から複数名から選考する方法に変更。部会数を4⇒2に減少。5年生の保護者が集まり決める。規則に沿って選考に当てはまらない人は除外し、決まらない場合はくじ引き。推薦方式。(2校) 選考対象となったブロックの1年生の保護者に推薦書を記入。規則で子供1人につき最低1回はPTA活動に参加。申し出る方が多く協力的。</p> <p>Q.PTA総会の開催方法は？</p> <p>A.紙面開催。Web開催(2校) コドモンを利用</p> <p>Q.あいさつ運動、旗振りの状況は？</p> <p>A.あいさつ運動はボランティアで、回数は減少。旗振りは個人差があり、回数に差がある。旗振りはない。登校時は民生委員が同行。あいさつ運動は令和2年度から中止。</p>	

市 P 連 ア ピ ー ル

～スマホ等の使用についての磐田市PTA連絡協議会の約束～

(R5改定)

磐田市PTA連絡協議会では、便利な情報ツールであるスマホなどを子どもたちに持たせるにあたり、「情報を正しくあつかうこと」、「心と体の健康を守ること」をいかに教え、責任をもたせるかということについて、話し合いや研修を重ねてきました。また、各学校PTAでも話し合いや独自の取り組みが行われてきました。

磐田市PTA連絡協議会では、スマホ等を子どもたちに正しく使わせ、心と体の成長を守るための保護者の実践目標を、以下の通り決めました。

1. 子どもたちの発達年齢に伴う「情報を正しくあつかうこと」に関する目標

インターネットは世界中に直接繋がっているということを理解し、SNS等による個人情報の流出、いじめ、ネットトラブル等に巻き込まれないように保護者が責任をもって、
(小学生)フィルタリングサービスなどを使って管理し、機能を制限する。

(中学生)フィルタリングサービスなどで、機能を必要に応じて制限する。

また、子どもが情報を正しく扱えるようになったと判断できたら、子どもと「ネット上の正しい責任のあり方」について話をする。

2. 子どもたちの「心と体の健康を守ること」に関する目標

寝不足や視力低下の原因とならないように、1日の使用時間を家族で決める。

また、友達同士のメールなど、コミュニケーションツールは相手に配慮して、

(小学生)午後8時以降使用しない

(中学生)午後9時以降使用しない

ご家庭におかれては、子どものスマホ等の使用の様子に注意するとともに、「情報のあつかい」、「規則正しい生活」を話題に、積極的な話し合いをお願いいたします。

各学府、学校PTAにおかれては、その発達段階に応じた目標を設定するなど、子どもたちの健やかな成長のために一層のご尽力をお願いいたします。

令和5年7月

磐田市PTA連絡協議会

会長 齋藤 純

市 P 連 ア ピ ー ル

～ 祭典における児童・生徒の「飲酒・喫煙」防止対策について ～

(R5改定)

このアピールは、日ごろから、皆様方の絶大なる御協力を得て、また、児童・生徒自身の努力もあって、大変な成果をあげています。誠にありがとうございます。しかしながら、私たちは、これに満足をしているわけではありません。市P連として、一層の定着に向けて努力をしてまいります。

新型コロナウイルス感染症が5類へ緩和されたことにより、市内で開催される祭典が徐々に活気を取り戻してくるにあたり、各学校・各地域では、お互いに連携を強化し、課題意識を持って対処し、児童・生徒には“絶対に酒を飲ませたり”、“たばこを吸わせたりしない”、また、“喫煙、飲酒を見逃さない”を誓い合い、児童・生徒自身が誇れる祭典にするために、次のようなことに十分な配慮をされますようお願いしてアピールします。

- 1 地域と学校は、事前に話し合いをし、指導等について共通理解をしましょう。
- 2 各学校では、児童・生徒に祭典の意義を的確に指導し、酒やたばこを断ち切ることを徹底しましょう。
また、学級や地域懇談会・学級たより等で、保護者への呼び掛けをしましょう。
- 3 生徒自身にも祭典への取り組みについて、自ら考えさせ実践させましょう。
- 4 各地区では、自治会や祭典委員会を通して、どんなことがあっても絶対に酒やたばこをすすめないことを申し合わせ、実行しましょう。
- 5 飲酒・喫煙の場を見かけたら、ためらわずに声をかけ、大人が責任を持って、児童・生徒の飲酒・喫煙の行動を止めるようにしましょう。
- 6 祭典に対しては、祭典本部・各校・各単Pの役員が連携し合い、機能できるようにしておきましょう。
- 7 日常から声をかけ、地域全体で子どもたちを育てるよう心がけましょう。

令和5年7月

磐田市PTA連絡協議会

会 長 齋藤 純

令和5年度

各単位PTA の 活動報告



記念植樹（竜洋東小学校）



学府あいさつ運動（向陽中学校）

P T A 事 業 報 告		【 磐田北小 】 学 校	
事 業 名	内 容		参加人数
【学年部】 授業参観（年3回） 懇談会（年1回）	4/24（月）PTA総会（書面議決） 5/13（土）参観会（学校公開） 11/17（金）参観会・懇談会 2/16（金）参観会・懇談会		のべ 約1700人
学校保健委員会 （年1回実施予定）	7月10日（月） 城山中学校区三校合同で実施（インターネット配信）		約50人
【広報部】 PTA広報誌 （年2回発行予定）	6月「せんだん」135号発行 3月「せんだん」136号発行		全部員 8人
【文化教育部】 給食試食会	7月下旬 1年保護者に給食動画を配信 後にアンケートを実施し、アンケート結果を配布		
慰霊祭	5月19日（金）に実施 昭和20年5月19日、空襲爆撃で命を失った教師1人を含む29人の供養のための慰霊祭 供養のためのお供え等祭壇の準備等々 規模を縮小して実施		正副会長 正副部長 8人
【環境整備部】 奉仕作業 （年3回実施予定）	6月3日中学年（雨天中止）・7月1日高学年（雨天中止）・9月30日低学年 校庭や校舎内の整備を目的とした奉仕作業を実施。雨天のため、3回目のみ実施		約200人
資源回収 （年3回実施予定）	予定通り、5月20日（土）、9月2日（土）、10月28日（土）の3回実施		約300人
【安全部】 子ども110番の家訪問	4月～5月に実施		安全部員 全員
見付地区北小学校防犯 ・交通安全推進協議会	部長・副部長が参加		各回2名
資源回収時の交通整理	5月20日（土）、9月2日（土）、10月28日（土）の3回実施		
【その他】 あいさつ声かけ運動	年4回（4月、7月、9月、12月）青少年健全育成の取り組みに賛同し実施		のべ 約40人
広報誌・年間発行回数	2回	（その内、手づくり広報紙発行回数	0回）
資源回収・年間実施回数	3回	PTA奉仕作業・年間回数	1回
授業参観会・年間回数	3回	学級（学年）懇談会・年間回数	2回
PTA研修室	ある （ない）	PTA関係資料・書籍等の保管場所	（ある） ない
本年度のPTAの予算	2,852,700円		PTA会費・年間1世帯あたり 1,800円
5年度の反省 （成果・課題）	<p>○本部役員を中心に、各専門部において役員・教員が協力して諸活動に取り組むことができました。</p> <p>○本年度のPTAのテーマ「子どもたちの可能性を信じ、あたたかく見守ろう」に沿い、ほぼ計画通りの有意義な活動ができた。雨天のため、奉仕作業が2回できなかったのは残念であった。</p> <p>○各専門部から上がった意見を基に、次年度以降の活動内容の検討を行った。本年度同様、活動内容を充実させながらも、スリムな運営をしていくための手立てを、運営委員会でじっくりと検討することができた。</p>		

活動報告〔磐田北小学校〕



慰霊祭

あいさつ運動



資源回収



令和5年度 P T A 事業報告 【 磐田中部小 】 学校			
事業名	内 容		参加人数(概数)
○PTA総会	・4月、4年ぶりにPTA総会を体育館で開催。		240人
○参観会、懇談会	・参観会・懇談会は4月、6月、12月に実施。2月に高学年、低学年に分かれて2日間で参観会と懇談会を実施予定。		400人
○交通安全リーダーと交通安全を語る会	・指導員3名・高学年児童・生活指導部員・地区連絡員で実施。		児200人 120人
○地区委員会 (地域防災訓練)	・地区委員が6月に委員会に参加。8月に地域防災訓練に参加。		20人
○PTA行事	・150周年行事と合わせて昨年度から始まった「マッピーフェスタ」を開催(11月18日)。地域の様々な団体が子供が楽しめる出展をしてくださり、役員が中心となって運営を行った。		児400人 300人
○学校保健委員会	・学府合同でPTA教育講演会「逆境から回復する力を育む関わり方」を実施し、PTA役員と教員が参加。		45人
○資源回収	・iプラザ駐車場で、保護者や学区の方々から出していただいた資源を回収した。(年3回)		① 70人 ② 70人 ③ 70人
○親子奉仕作業	・5月(3,4年)、8月(1,2,5年)は保護者と教員だけで実施。2月(6年)は児童も参加予定。		200人 児100人
○PTA新聞 「いずみ」発行	・PTA文化部が、学校の様子(児童の活動の様子や教職員の紹介など)やPTA活動について、見やすく分かりやすく伝えた。(年2回)		10人
○国分寺マラソン大会	・PTA保健体育部が国分寺マラソン大会の監察をした。		10人
○地域安全 チェックカード	・生活指導部員と通学班連絡員が、朝や下校時の街頭指導を実施した。地区での児童の様子についてGoogleフォームで回答して学校に伝え、交通安全指導に生かした。(年3回)		110人
広報紙・年間発行回数	2回	(その内、手づくり広報紙発行回数	2回)
資源回収・年間実施回数	3回	PTA奉仕作業・年間実施回数	3回
授業参観会・年間回数	4回	学級(学年)懇談会・年間回数	4回
PTA研修室・ある(○で囲む)	ない	PTA関係資料・書籍等の保管場所	ない
本年度のPTA予算	9754300円	PTA会費・年間1人あたり	1,300円
5年度の反省 (成果・課題)	・今年度はPTA総会、役員会など、大勢で集まって実施する会合を再開した。さらに、11月18日午前中には150周年式典・歌声発表会、午後にはPTA主催の「マッピーフェスタ」が開催され、児童、保護者、地域の方々、役員、教職員が協力して磐田中部小150周年を盛り上げることができた。今年度の経験を基にPTA活動の内容、役割分担などを協議、改善していきたい。		

令和5年度 磐田中部小学校 実践写真

資源回収



奉仕作業



交通安全を語る会



PTA 総会



サイバーホイール



バルーンアート



マッピーフェスタ

射的



空手教室



P T A 事業報告		【磐田市立磐田西小】 学校
事業名	内容	参加人数
PTA 総会(4月)	本年度は、PTA 総会はオンライン開催とした。議案の承認は、各学級からの拍手の大きさで本部役員が確認した。	約300人
授業参観会・懇談会(4・6・11・2月)	懇談会の内容を学年部の保護者が教職員と相談して決定し、当日の司会を保護者が行った。	各回 約300人
資源回収(4・9・1月)	年間3回行った。1回目は高学年の役員、2回目は中学年の役員、3回目は低学年の役員が参加した。地区ごとの回収・搬入時刻の確認と搬入時のルールの確認を行った。	各回 約40人
交通安全を語る会(6月)	支部長や研修部が参加をして実施した。交通安全指導員の方の講話の後、通学班ごとに分かれて、それぞれの状況を伝え合ったり、今後の注意点や目標を話し合ったりした。	約30人
親子学校美化活動(5・8月)	多くの方に参加していただき、草刈りや側溝の清掃、枝払い等を行った。参加児童は草集め作業をした。2回とも熱中症対策として、途中休憩を取り、進捗状況を確認しながら行った。	約400人
運動会の運営手伝い(6月)	支部長はコロナ前の例年通り、支部ごとに保護者用テントを設営した(毎年テントを張る場所はローテーション)。保体部は、保護者駐輪場の案内等分担して行った。	約20人
学府合同学校保健委員会・PTA 教育講演会(9月)	静岡大学教育学部教授小林明子氏を招き「第一部：物事のとりえ方」「第二部：逆境から回復する力を育む関わり方」をテーマに講演していただいた。多様な見方や考え方の日常生活への生かし方、児童生徒に必要な力を付けるための関わり方等学ぶことができた。	約50人
親子ふれあい活動(10月)	午前中開催。各活動(防災関係・もの作り関係・体験運動遊び関係等)の企画や運営を研修部中心に行い、多くの児童や保護者が参加し有意義な時間を過ごした。	約400人
持久走大会の運営手伝い(12月)	保体部は、周回コースの交通係、監察等の仕事を分担して行った。	約20人
各地区の支部子ども110番の家の確認	子ども110番の家の新規加入依頼、及び、協力しているお宅や事業所の連絡・確認を行った。	7人
広報誌・年間発行回数 0回 (その内、手作り広報誌発行回数 0回) 資源回収・年間実施回数 3回 P T A 奉仕作業・年間実施回数 2回 P T A バザー・年間実施回数 0回		
授業参観会・年間回数	4回	学級(学年)懇談会 4回
P T A 研修室	なし	P T A 関係資料・書籍等保管場所 あり
本年度の P T A 予算	734,850 円	P T A 会費・年間一人あたり 1,500 円
5年度の反省(成果と課題)	<p>今年度は、計画している事業を計画通り実施することができた。特に、親子ふれあい活動は、コロナ前は、終日開催であったが、今回は、午前中開催にし、本部役員・研修部中心に計画・予算立案から運営まで、年度当初より話し合いを重ね、実施に導くことができた。多くの保護者と児童が参加し大盛況のうちに終わることができた。保護者同士の交流も深められた。</p> <p>事業内容をコロナ前に戻すことなく、今年度の実情に合わせて吟味し「令和5年度のスローガン～西っ子の笑顔のために～」らしく、会長中心に本部役員と研修部、保体部が連携し各事業の計画運営を滞りなく行うことができたことは成果である。</p> <p>働いている保護者の割合が高く、家庭の実情も多様化してきている状況の中、保護者・教員の負担軽減をするための方法について活動内容を見直していくことが課題である。</p>	

親子ふれあい活動



サイバーホイールで楽しむ児童と役員



消防署員から消火器の指導を受ける児童

美化活動



協力し合って草集めをする親子

資源回収



搬出作業を連携し合う保護者の方々

持久走大会



ポイントに立つPTA役員

交通安全リーダーと語る会



正しい旗振りを見守る支部長や研修部

PTA事業報告 【磐田南小】学校		
事業名	内容	参加人数
[PTA本部]	PTA役員会等企画運営。PTA事業の推進等を行う。	
1. PTA総会(4月)	令和4年度活動報告・5年度の事業計画・予算の審議及び承認	約230名
2. 本部・役員会(4月～3月)	年9回各部事業の経過報告、協議事項の検討	8～12名/回
[生活指導部]	「子供の笑顔を守り隊」の学校や自治会と行政の連携により危険箇所の確認	
1. 挨拶交通安全運動(5・8・1月)	登校時、通学路の交差点にて交通安全指導と挨拶運動実施	6名/回
2. 交通安全マップ配付(7月)	6～7月交通安全マップ配付企業の選定 7月交通安全マップ配付	6名
3. 防犯ボランティア募集、会議等安全指導(7・12月)	「子供の笑顔を守り隊」会議の開催。防犯・安全指導の実施	6名/回
[保健体育部]	校内の保健行事への参加	
1. 運動会運営補助(5月)	テント設営・片付け	約10名
2. 学校保健委員会(9月)	学校保健委員会の参加。児童の健康実態や新体力テストの結果等の把握。「これからの子どもたちへ メディアとの関わり」講話を聴講	7名
[文化活動部]	発行回数や内容の検討。各専門部との連携を図り作成	
1. PTA新聞発行(7・3月)	年2回発行。部長中心に、特にメインにする内容の充実を図るための検討	550部/回
[環境整備部]	校内環境整備活動における安全管理(作業機械操作時の取扱いと指導)	
1. 環境整備作業(5・9月)	2回を通学区で分けて実施(除草・校内清掃など)	約160名/回
2. 資源回収(6・10月・12月)	3回実施。事前に、回収方法、搬入方法、作業内容等確認し、実施	約30名/回
[学年部]	学級PTA委員会、役員選出会、大松クラブイベントの企画	
1. 学級PTA委員会等(2・11月)	大松クラブイベントの計画立案及び準備の進捗状況検討・確認 懇談会、役員選出会への事前打ち合わせ	約40名/回
2. 学校保健委員会(9月)	学校保健委員会の参加。児童の健康実態や新体力テストの結果等の把握。「これからの子どもたちへ メディアとの関わり」講話を聴講	7名
3・学級懇談会(4・6・11・2月)	学級担任と連携を図り、学級懇談会の司会進行	約20名
4. 役員選出会(11月)	本部役員と連携を図り、役員会選出の司会進行	約40名
広報誌・年間発行回数	2回 (その内、手作り広報誌発行回数 0回)	
資源回収・年間実施回数	3回 PTA奉仕作業・年間実施回数 2回	
授業参観会・年間回数	4回 学級(学年)懇談会・年間回数 4回	
PTA研修室	ある・ <input checked="" type="radio"/> ない(○で囲む)	PTA関係資料・書籍等の保管場所 <input checked="" type="radio"/> ある・ <input type="radio"/> ない
本年度のPTA予算	977,860円	PTA会費・年間1人あたり 1,800円
5年度の反省 (成果・課題)	<p>・今年度は「できることの実践 人と人との繋がり 南っ子の笑顔と共に」をスローガンに活動をした。子供たちの笑顔があふれるように家庭・学校・地域が繋がり子供たちを見守っていきたい、という思いをもって企画・運営をしてきた。</p> <p>・PTA事業においては、PTA会長を中心に本部役員と各専門部長及び担当職員が連携を図り、計画立案→打合せ(会議)→実施→成果・課題の分析(会議)→次回(次年度)への改善点把握のサイクルで行ってきた。その中で、時代と共に家庭や生活環境が大きく変化しており、本校の実態を踏まえながら、持続可能で積極的なPTA活動ができるよう、本部・役員会・学年部員・専門部員などに広く意見を求め、継続していける事業の中でも、運営組織について、今後も協議が必要だと考える。</p>	

令和5年度 主な活動内容

PTA総会



環境整備作業



資源回収



あいさつ交通安全運動



学校保健委員会



懇談会、役員選出会進行



P T A 事 業 報 告 【 東 部 小 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
奉仕作業	1 回目は6月に実施した。屋外と室内の活動を行った。 2 回目は9月に実施した。屋外の草取りと運動場側溝内の土の除去を行った。 参加は保護者のみ。昨年同様、児童の参加は取りやめた。	約 600 名
資源回収	1 回目を5月に、2 回目を1月に実施した。 地区別搬入時間を設け、車の出入りや混雑が緩和されるよう工夫をした。	約 140 名
広報誌「うきみや」の発行	7月に発行した。印刷会社を検討し、学校の様子が分かりやすい紙面を心掛けた。	約 10 名
PTA の日 (バザー)	11月18日に行った。3部制でバザーを行うことで、一度に人数が集中しないように入場人数を分散させ、販売する係の人数も減らして行った。	約 350 名
あいさつ運動	PTA 学級委員が、校門前で朝の挨拶を行った。	約 50 名
子ども 110 番の家の確認	子供たちの安全のために、夏休み中、生活環境委員が「子ども 110 番の家」のプレートの確認や電話で挨拶を行った。	8 名
壁新聞作り	各地区の花壇の写真を題材に壁新聞を作り、PTA の日に掲示した。その後、職員室前廊下掲示板に展示した。	8 名
広報紙・年間発行回数	1 回	(その内、手づくり広報紙発行回数 0 回)
資源回収・年間実施回数	2 回	P T A 奉仕作業・年間実施回数 2 回
授業参観会・年間回数	4 回	学級(学年)懇談会・年間回数 4 回
P T A 研修室・	ある (ない) (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 (ある) ない
本年度の P T A 予算	1, 149, 890 円	P T A 会費・年間 1 人あたり 1, 200 円
令和 5 年度の反省 (成果・課題)	<p>「みんなで作ろう！PTA」、「KTA 活動を進めよう！交流を広めよう！」を活動テーマに事業を行った。本年度も会員の協力を得て、できる範囲で様々な活動を実施していくことができた。</p> <p>今年度は、奉仕作業、資源回収を予定通り 2 回実施した。また、PTA の日(バザー)は準備段階での役員の負担軽減を試みた。当日は体育館への入場制限を緩和し、再入場も可としたため、大勢の人が買い物を通して PTA 活動を身近に感じる場となった。さらに、今年度新たに子どもたちが楽しめるように、モルック、輪投げ、じゃんけんをして遊ぶ交流の場を設けた。体験者には参加賞もあり、大変にぎわった。</p> <p>「KTA 活動を進めよう！交流を広めよう！」について人権・共生をテーマに、運動会で、事前にダンス動画を配信し、親子で KTA ダンスを実施した。また、PTA の日のバザーや子どもが参加できるゲームコーナーを通して、国籍を問わず様々な方が交流する場を設けることができた。</p> <p>しかし、バザーについては年々家庭からの協力品が減少しており、今後 PTA の日を継続していくかどうか考えていく必要がある。また、本校は外国人児童が多く在籍しているため、今後も PTA 活動への理解と協力を保護者や地域にお願いしていく必要がある。</p>	

令和5年度 東部小学校PTA 活動スナップ



奉仕作業



資源回収



PTAの日

P T A 事 業 報 告

【 磐田市立大藤小 】 学校

事 業 名	内 容	参加人数	
資源回収	資源回収・・・地域の工場の駐車場を借用して行った。スペースが十分あり、事故や交通渋滞の心配もなかった。	約180人	
挨拶運動	月1回「あいさつ・ありがとうの日」を設定し、各地区の集合場所や横断歩道、正門にPTA役員や地域の方が交代で立ち、挨拶運動を行った。感染症予防のため、規模を縮小して行った。	約180人	
広報紙の発行	PTA新聞「ふれあい」96号を発行した。なわ跳び大会の写真撮影、教職員の紹介等、企画から取材、割り付けなどを編集会議で行い、内容の充実を図った。	10人	
「子ども110番の家」と、茶農家に協力の依頼	「子ども110番の家」に活動への協力を依頼した。2月には本年度のお礼と来年度の依頼を行った。 地域の茶農家にお茶の寄付の依頼をした。多くの寄付があり、子供たちが給食時に地元のお茶を飲むことができた。2月には、子供たちからのお礼のメッセージカードを渡した。	10人	
広報紙・年間発行回数	1回	(その内手づくり広報紙発行回数	0回)
資源回収・年間実施回数	3回	PTA奉仕作業・年間実施回数	2回
授業参観会・年間数	4回	学級(学年)懇談会・年間回数	4回
PTA研修室・	ある <input checked="" type="radio"/> ない (○で囲む)	PTA関係資料・書籍等保管場所	<input checked="" type="radio"/> ある ない
本年度のPTA予算	409,880円	PTA会費・年間1人あたり	1,800円
5年度の反省 (成果・課題)	<p>PTA総会は放送室と各教室とオンラインで結んで行った。諸活動については、PTA本部役員を中心として、活動を進めることができた。伝統的に会員の皆さんの協力体制の構築ができており、教育活動の充実のため、保護者と学校が連携して活動できた。</p> <p>親子ふれあい作業や資源回収は、安全面に配慮し、成果のあがる活動となった。</p> <p>毎月1回の「あいさつ・ありがとうの日」は、横断幕やのぼり旗を掲げて意識を高めた。地域の方も参加してくださり、地域、保護者、学校が協力して活動できた。</p> <p>今後、学府一体校小学校に向け、PTAとしても新たな規約の創設に向けて準備を進める必要がある。PTA役員が中心となり、バランスのとれた活動となるよう推進していきたい。</p>		

令和5年度 PTA 活動の様子 大藤小学校

「みんなで育てよう 藤っ子魂」のスローガンのもと、「気持ちのよいあいさつをかわそう」「生活リズムを整えよう」「地域と学校の行事に親子で参加し、和を広げよう」の3点を重点として取り組んだ。

親子ふれあい作業<年間2回>

児童と保護者、教職員が2つのグループに分かれ、草刈りや運動場整備を行いました。学校はとてもきれいになりました。



資源回収<年間3回>

4月・7月・1月に、大藤こども園PTAと合同で、実施しました。収益は、施設設備費や児童の活動補助に充てられました。



あいさつ・ありがとうの日<年間8回>

PTA会員や地域の方が街頭での挨拶運動を行います。地域の方、保護者の皆さん、学校が一体となって挨拶運動を推進しています。

運動会テント設営ボランティア

運動会で児童が見学する場所としてのテントを、運動会当日の朝、PTAの有志で設営しました。



PTA新聞ふれあい<年1回発行>

広報研修部の皆さんが、行事の様子を撮影し、新聞にまとめています。写真は学校も提供していただき、学校だより等に活用しています。



P T A 事 業 報 告

【 磐 田 市 立 向 笠 小 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
P T A 総 会	本年度も、ほぼ全会員の出席を得て、4月21日にPTA総会をオンラインで実施した。(各教室)	約 110人
創 立 1 5 0 周 年 記 念 事 業	① 創立150周年記念横断幕作成 ② 創立150周年記念写真撮影 ③ 創立150周年記念運動会PTA種目 ④ 創立150周年記念式典「わくわくドキドキサイエンスショー」 など様々な行事で創立150周年を祝ってきた。	③・④ 約 110人
奉 仕 作 業 (年1回)	熱中症に配慮しつつ、水分補給や熱中症予防対策を十分にとった上で実施した。権現山の草刈り・整備、運動場の草取り等を行った。	約 110人
資 源 回 収 (年2回)	5月・11月の2回とも予定通りに実施した。例年、幼小合同で行っている。事故なく、スムーズに実施できた。(右欄の人数は、地域で回収する人を含む。)	各 月 約 7 0 人
校 内 学 校 保 健 委 員 会 (6月1日)	第1回：向笠小学校 学校保健委員会 講話「家庭で行う睡眠教育」 講師：矢野 智 先生(スクールカウンセラー)	約 1 5 人
学 府 学 校 保 健 委 員 会 (12月7日)	第2回：向陽学府 学校保健委員会 講話「メディアと健康」 講師：長澤 弘子 先生：浜松子どもとメディア リテラシー研究所	約 5 0 人
資源回収・年間実施回数 2回 P T A 奉 仕 作 業 ・ 年 間 実 施 回 数 1 回		
授 業 参 観 会 ・ 年 間 回 数 3 回		学 級 (学 年) 懇 談 会 ・ 年 間 回 数 3 回
P T A 研 修 室 ・ ある ない		P T A 関 係 資 料 ・ 書 籍 等 の 保 管 場 所 ある
本 年 度 の P T A 予 算 418,760円		P T A 会 費 ・ 年 間 一 人 あ た り 1,200円
令 和 5 年 度 の 反 省 成 果 ・ 課 題	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、資源回収と奉仕作業を予定通りに実施することができた。本年度は、PTA役員と職員の負担軽減のため、それぞれの回数を1回ずつ減らして行った。また、専門部を環境整備部のみとし、広報部を廃止して専門部の業務を見直してきた。なお、PTA新聞やPTA広報誌に代わり、本校ホームページで子供の様子や学校での活動を伝えることとした。</p> <p>今後の課題として、令和8年度の向陽学府小中一体校化に向けて、岩田小・大藤小・本校の3小学校で、PTAの組織や事業をどのようにしていくのか、検討していくことが挙げられている。</p>	

令和5年度 向笠小学校PTA活動の様子



創立150周年記念事業



創立150周年を迎え、PTAではいくつかの記念事業を実施してきました。①創立150周年記念横断幕作成②創立150周年記念写真撮影③創立150周年記念運動会PTA種目④創立150周年記念「わくわくどきどきサイエンスショー」⑤記念品贈呈など様々な行事で創立150周年を祝ってきました。

運動会PTA種目



本年度の運動会では、創立150周年記念PTA種目「創立150周年だよ！全員集合」を行いました。PTAの役員を中心に話し合いを進め、競技は大玉送りに決まりました。当日は、4チームのトーナメント戦が繰り広げられ、親子で楽しく和やかな時間を過ごすことができました。

奉仕作業



本年度は、奉仕作業を1回にし、9月に行いました。権現山周辺の草刈りや運動場の草取りを中心に行いました。運動場での体育学習や運動会に向けての練習、生活科・理科の自然観察など、教育活動が安全に行えるようになりました。

資源回収



予定通り2回の資源回収を実施できました。例年通り、向笠幼稚園と合同で実施し、回収当日も協力して作業にあたりました。収益金も学校と園で分配しています。また、アルミ缶回収は、袋を体育館横に常に設置して、1年を通して実施しています。

P T A 事 業 報 告 【 磐 田 市 立 長 野 小 】 学 校

事 業 名	内 容	参 加 人 数
P T A 総 会	・ 運営方針、事業計画、予算等についての協議 ※今年度も放送で行い、各クラスで視聴	約 160 人
運営委員会	・ 各事業の経過報告、協議事項についての検討（年 4 回）	17 人
役員会	・ 運営委員会に向けての話し合い（年 4 回）	7 人
環境整備委員会	・ 各委員会活動、自治会活動、市 P 連活動への参加 ・ 奉仕作業を年 2 回（5 月、9 月）行い、校舎外の環境整備	4 人 約 140 人
文化活動委員会	・ 資源回収を年 2 回（6 月、11 月）実施 ・ 広報誌→P T A 新聞「龍門館」を年 2 回発行	約 30 人/回 7 人
地域生活委員会	・ 各種行事写真撮影 ・ あいさつ運動、交通指導の実施（4～5 月） ・ 安全を守る活動→危険箇所点検マップの確認	13 人 9 人
役員候補者指名委員会	・ 来年度の役員候補者の調整、交渉、指名	7 人
会計監査委員会	・ 今年度の P T A 関係の会計の監査	2 人
新旧役員委員引き継ぎ会	・ 今年度の活動についての説明、引き継ぎ事項の伝達等	51 人
新委員研修会	・ 次年度事業計画の作成	36 人
広報紙・年間発行回数	2 回	（その内、手づくり広報紙発行回数 0 回）
資源回収・年間実施回数	2 回	P T A 奉仕作業・年間実施回数 2 回
授業参観会・年間回数	4 回	学級（学年）懇談会・年間回数 4 回
P T A 研修室・ある ない（○で囲む）		P T A 関係資料・書籍等の保管場所 ある ない
本年度の P T A 予算	1312869 円	P T A 会費・年間 1 人あたり 2400 円
5 年度の反省（成果・課題）	<p>「今を大切に そして未来へ前進しよう」を活動テーマとして本年度 P T A 活動に取り組んだ。前年度までのコロナの影響もなく、計画していた活動に全て取り組めた。特に、今年度は長野小 150 周年ということもあり、記念誌の発行、航空写真の撮影、記念式典の開催等、例年にない活動を行うこともできた。また、P T A 総会の短縮化、役員定数の検討、資源回収や奉仕作業の回数の検討など、例年までは昨年度と同様な活動としてきた懸念事項等を役員会で話し合うこともでき、P T A 活動に対する理解が深まる年となった。来年度以降も、よりよい P T A 活動の実施に向けて、積極的に活動内容の検討と活動内容の見直しを行っていききたい。</p>	

(活動写真等)



P T A 事 業 報 告

【磐田市立岩田小】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
○資源回収	年2回（4月・10月）生活委員会を中心として実施した。	約100人
○奉仕作業	年2回（5月・9月）環境美化委員会を中心に実施した。 令和6年3月に、6年会員及び6年生児童による校内清掃を実施予定。	約170人 (延べ人数)
○通学路点検	生活委員会が「子ども110番の家」の確認と通学路点検をした。 (5月)	9人
○向陽学府学校保健委員会	向陽学府学校保健委員会において、「メディアと健康」をテーマに、浜松子どもとメディアリテラシー研究所 長澤 弘子氏に講演をしていただいた。(12月)	10人
○広報誌発行	広報委員が学校行事や児童の活動の様子を取材し、広報誌「さぎさか」を発行した。 (7月・2月予定)	6人
○あいさつ運動	登校時に、正門で児童と挨拶を交わした。会員が輪番制で実施した。	約50人 (延べ人数)
<学校支援活動・学習支援ボランティア活動>		
○図書整理	ブーさん倶楽部（図書ボランティア）が、図書の整理、ラベル貼り、図書修繕及び掲示等の環境整備を行った。	8人
○岩っ子サポーター	地域の方の協力により、様々な交流・体験学習を実施した。 地域の方々にボランティアを募集し、学校周辺の環境美化（草取りボランティア）花壇ボランティア、託児ボランティア等の活動をCSD中心に活動した。	約50人 (延べ人数)
広報紙・年間発行回数	2回	(その内、手づくり広報紙発行回数 0回)
資源回収・年間実施回数	2回	P T A奉仕作業・年間実施回数 2回
授業参観会・年間回数	3回	学級(学年)懇談会・年間回数 3回
P T A研修室・	ある (ない) (○で囲む)	P T A関係資料・書籍等の保管場所 (ある) ない
本年度のP T A予算	320,583 円	P T A会費・年間1人あたり 3,000 円
5年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は開校150周年の節目の年になる。5月の新型コロナウイルス感染症の規制緩和を受けて、開校150周年記念運動会等の学校行事への参観については、久しぶりに人数制限をなくし、多数の保護者、地域の方を招いて実施した。 ・開校150周年記念大樹祭(学習発表会)についても、全学年が一同に会し、150周年記念動画や児童による記念クイズ等で盛り上げ、見ごたえのある学年発表に加えて、全校児童による「ふるさと」の合唱を実施した。 ・本校は単学級で、年々児童数が減少傾向にあり、次年度は100人を下回る予定である。学年によって児童数に大きな差が見られるため、P T A組織改編やP T A規約の見直しを行った。次年度の総会で承認を得る予定である。 ・2年後には閉校を迎える。一体校としてのP T Aは小学校と中学校は別の組織で運営することになった。一体校のP T A会長の選出方法について、現在検討を進めている。 	

令和5年度岩田小学校 PTA活動の様子

“共に歩み 共につなぐ”

- ☆ 元気に挨拶しよう
- ☆ 人とのつながりを大切にしよう
- ☆ みんなで助け合いをしよう
- ☆ 全てのひと、ものに感謝の気持ちを持とう

資源回収（4月 10日）奉仕作業（5月 9日）

地域の方にも協力していただいて資源回収を実施し、収益金は子どもたちの教育活動に役立てました。来年度は、持続可能なように回収の仕方を変更する予定です。

奉仕作業では、校内環境を整え、安全に気持ちよく生活できています。



あいさつ運動(学府挨拶の日)



北門前で、登校してきた子どもたちと朝の挨拶を元気に交わしました。向陽中学生の元気をもらっている子どもたちです。PTAの皆さんや地域の方々に見守られ、安心して登校することができます。



フーさんクラブ

図書館司書の方と連携をしながら、ボランティアの保護者の方が、図書の整理や掲示物の作成、図書修繕をしてくださり、子どもたちが楽しく本に親しむ環境を整えてくださいました。



学習支援ボランティア 岩っ子サポーター



福祉教育を中心に様々な体験を通して地域とのつながりを大切にする活動をしています。門松づくり、昔の遊び、落花生の収穫、焼き芋など貴重な体験ができています。



P T A 事 業 報 告 【 田 原 小 】 学 校			
事 業 名	内 容		参加人数
企画委員会	4月10日(月)、6月30日(金)、11月6日(月)2月22日(木) ・年間活動方針の確認 ・新年度役員の確認		各回9名
運営委員会	4月10日(月)、2月22日(木) ・各部の活動の引継と確認 ・年間活動の反省、まとめ		各回 約25名
奉仕活動	5月28日(日)、9月24日(日) ・校舎内の清掃 ※9月24日は実施取りやめ		約100名
登校時街頭交通指導	毎月	・朝の交通指導を行った。	各回 10名
資源回収 (4・10・1月)	・感染症対策のためアルミ缶回収に変更して実施した。体育館軒下に、回収袋を設置して2週間回収期間とした。		
学級懇談会	4月21日(金)、6月16日(金)、11月17日(金) 4～6年2月6日(火) 1～3年2月13日(火)		
広報紙・年間発行回数	0回	(その内、手づくり広報紙発行回数	0回)
資源回収・年間実施回数	2回	P T A 奉仕作業・年間実施回数	1回
授業参観会・年間回数	5回	学級(学年)懇談会・年間回数	4回
P T A 研修室・	ある(○で囲む)	ない	PTA 関係資料・書籍等の保管場所: なし
本年度の P T A 予算	382,555 円	P T A 会費・年間1人あたり	2,400 円
5年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 会員の負担軽減のため、役員数を減らし、資源回収などの実施方法を工夫した。PTA 奉仕活動も1回に減じた。昨年度をもって、PTA 新聞も最終号とし、廃刊した。 ・その結果、PTA 会長やPTA 学年委員に立候補してくださる保護者の方が増えたため、選挙等は実施しなくてすんだ。 ・運動会のテントの撤収作業を手伝ってくださった者の方が多くいて、学校教育活動に協力していただける体制ができている。 ・新型コロナウイルスの分類が見直され、交流センター夏祭りにPTAの方が参加するなど、地域との交流が再開できた。 		

(活動写真等)

○PTA 参観会・懇談会



懇談会の託児ボランティア



P T A 事 業 報 告		【 磐田市立富士見小 】 学 校	
事 業 名	内 容	参加人数	
PTA 総会 1回/年 (4月)	・(スローガン) 立候補者が出るPTA活動をめざして紙上開催 昨年度の事業報告、新年度の事業計画を提案し、承認された。	470名	
資源回収 3回/年 (5・7・11月)	・環境美化委員会を中心に、子供会や地域の方々の協力を得て実施した。	役員 24名 全家庭	
学校保健委員会 1回/年 (6月)	・よつば学府学校保健委員会では、「変化の時代を生きるメンタルトレーニング～レジリエンスを高めよう～」と題して、講師にキャリアコンサルタントの山本千香子氏を迎え、Youtube 限定公開の動画を視聴した。PTA学年委員が視聴し、懇談会の場で他の会員に報告をして共有した。	役員 55名	
児童安全委員会 3回/年 (5・12・2月)	・12月に、子ども110番の家にお礼の手紙を配付した。 ・5月には、6年生とともに「交通安全リーダーと交通安全を語る会」に参加し、意見交換を行った。	役員 21名	
親子ふれあい体験 1回/年 (7月)	・年度当初に父親委員が集まって協議した結果、今年度の活動は見送ることになった。	0名	
PTA 新聞 1回/年 (7月)	・広報委員会を中心に、PTA 広報誌「わかば」を発行した。	役員 6名	
PTA 主催 教育講話会 1回/年(7月)	・桶ヶ谷沼ビジターセンター所長である内野茂喜氏による講話「桶ヶ谷沼は魅力いっぱい～桶ヶ谷沼のトンボの世界」を、Youtube 動画として公開した。	オンデマンド方式	
奉仕活動 2回/年 (6・10月)	・環境美化委員が中心となり、保護者のボランティアによる参加者を募って実施した。校庭の草刈りや側溝そうじなどの環境整備を行った。	第1回 会員 64 第2回 会員 56名	
広報紙・年間発行回数	1回	その内、手づくり広報紙発行回数	0回)
資源回収・年間実施回数	3回	PTA奉仕作業・年間実施回数	2回
授業参観会・年間回数	4回	学級(学年)懇談会・年間回数	4回
PTA研修室・ある <input type="radio"/> (○で囲む)	<input checked="" type="radio"/> ない	PTA関係資料・書籍等の保管場所	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
本年度のPTA予算	1,033,500円	PTA会費・年間1人あたり	1,800円
令和5年度の反省 (成果・課題)	<p>昨年度行ったPTA活動見直し後の初運営でした。大きなトラブルもなく運営できたと思います。</p> <p>また、今後も必要な活動をPTA会員の皆様に負担感なく取り組んでいただけるよう、また、長く続けていける取り組みを行えるよう、本年度も引き続き議論を続けました。</p> <p>時代に合ったPTA活動を目指して今後も取り組んでいきたいと考えています。</p>		

令和5年度 富士見小学校 実践写真

資源回収(年3回実施)



学校保健委員会(学府で実施)



教育講演会(動画配信)



広報紙「わかば」発行



奉仕活動(年2回)多くのボランティアが参加してくれました！



事業名	内容		参加人数
ASDK活動	<福田小PTAの伝統活動 家庭と学校、地域と共に> A(あいさつ)…声掛け運動 S(掃除)…奉仕作業、環境美化活動 D(読書)…図書充実と読み聞かせボランティア K(交通安全)…登下校時の安全指導、子ども110番の家の依頼 交通安全リーダーと語る会、自転車点検 各家庭で4項目の標語を募集し、その中から代表作品を選出して、 1年間、教室や家庭に掲示している。今年度は、のぼり旗を作成し校内に掲示。		450人
親子の集い	<学級PTAが中心で企画する学年ごとの活動> 懇談会等の時間を利用し、親子で参加する活動。今年度6年生は、 講師をお招きして「アンガーマネジメント 上手に怒ろう 上手に伝えよう」を親子で聴講した。		1020人
開学150周年記念事業	全校児童と職員で作った福田小学校の校章の人文字をドローンで 撮影。開学150周年記念の横断幕を作成し掲示。記念品(航空写真 の下敷き・タオル)を全児童に配付。		631人
PTA奉仕作業	<施設部会が運営する学校環境整備活動> 学校環境の整備を目的に、5月と9月に行った。校舎内の掃除及び 敷地内、校外周辺の草刈りを実施した。		400人
資源回収	<社会教育部会が運営する資源回収> 今年度は4月と11月に実施。地区役員が各地区内で回収し、学校に 搬入。役員が積み込み作業を行った。		役員32人 全家庭地域
学校保健委員会 (はまぼう学府)	福田中学校 生徒指導主事の阿部哲也教諭による講話「レジリエ スを高めよう」と福田出身の漫画家 寺田浩晃氏による講話「心の拠 り所を探す」をPTA役員と関係教職員が聴講した。		25人
PTA運営委員会	PTA役員と担当教員が、各事業部の活動企画及び重要案件の協 議、連絡事項の伝達、情報交換の場としている。(年間5回開催)		役員18人
広報誌・年間発行回数	0回	(その内、手づくり広報誌発行回数 0回)	
資源回収・年間実施回数	2回	PTA奉仕作業・年間実施回数	2回
授業参観会・年間回数	4回	学級(学年)懇談会・年間回数	3回
PTA研修室	ある	ない	PTA関係資料・書籍等の保管場所
本年度のPTA予算	919,840円		PTA会費・年間1人あたり 1,500円
5年度の反省 (成果・課題)	「家庭・学校・地域の『かかわり』を大切にしながら、時代に合った新しいかたちを創る」をPTA 活動目標として、各事業を計画的に実践してきた。地域や家庭環境の変化、会員数の減少等 により、運営組織の編成や各部の活動内容について、話し合いを重ね見直してきた。また、懇 談会・親子の集いの在り方についてもさらに改善していくことが、今後の課題である。		

令和5年度 福田小学校PTA活動の様子



資源回収…役員同士の協力



奉仕活動…環境整備
行事に向けての作業

P T A 事 業 報 告

【磐田市立豊浜小】学 校

事 業 名	内 容	参加人数
PTA 役員全体会	・前年度の報告と今年度の提案	40 人
PTA 総会	・4月21日、各学級に分かれてリモートによるPTA総会を実施。 書面議決にて令和4年度の決算及び事業報告した。 ・令和5年度新役員、事業計画、予算案、文化部の廃止案等が承認された。	76 人
授業参観	・1学期と3学期に実施。	毎回約 80 人
公開日	・9月1回実施、12月は開校150周年式典として実施。	約 100 人
懇談会	・4月に実施、2月に学級懇談会を実施。	毎回約 60 人
親子奉仕作業	・年間1回(8月)	約 150 人
資源回収	・年間2回(4月・9月)計画通り実施	延べ 250 人
学府保健委員会	・磐田市出身の漫画家・寺田浩晃氏を講師とし「心のよりどころ」をテーマにについて動画視聴や講話を実施した。	67 人
交通当番活動	・通学路で主要道路を横断する3か所に保護者2人ずつが立ち、子どもたちが安全に通学できるように全授業日に交通当番活動を行った。	毎日 2人×3カ所
通学班編成	・各地区役員が中心となり通学班を編成した。	3 人
交通当番表作成	・通学路の3か所に、保護者の当番を順番に割り当てた一覧表を作成した。	3 人
交通安全を語る会	・通学班リーダーと警察官、PTA補導部が登下校の安全について考えた。	3 人
補導	・長期休業中や祭典中に補導部員個別に実施。地域で子供見守りを依頼し、気づいたことがあれば学校への報告をお願いした。	3 人
楽しい子育てキャンペーン3行詩	・3～6年が参加。我が家のルール・家族のきずな・命の大切さをテーマに3行詩を創作。	
親子で考える標語	・夏休みに「親子でつくる携帯・スマホに関する標語」を募集。全児童が参加した。	
あいさつ・声掛け運動	・学期始めの日に地域づくり協議会と一緒に朝の登校時にあいさつ運動を実施	
広報紙・年間発行回数	0 回	(その内、手づくり広報紙発行回数 0 回)
資源回収・年間実施回数	2 回	PTA奉仕作業・年間実施回数 1 回
授業参観会・年間回数	5 回	学級(学年)懇談会・年間回数 2 回
PTA研修室・	ある <input checked="" type="radio"/> ない (○で囲む)	PTA関係資料・書籍等の保管場所 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
本年度のPTA予算	171,229 円	PTA会費・年間1人あたり 1,800 円
5年度の反省 (成果・課題)	<p>PTA 目標を昨年に引き続き「親子のコミュニケーションを大切にしよう。」とし、この目標に基づき、参観会、運動会、親子奉仕作業、資源回収、親子で考える標語等の活動を親子のコミュニケーションづくりの場として関わりのある取組の実施ができました。</p> <p>世帯数減少により、PTA 組織の改定案を作成し、次年度は役員数を減少した中で活動をしていくこととなりました。また保護者全員が当番制で行う毎朝の旗振り当番活動では、自治会や豊浜地域づくり協議会の協力をいただき、子供たちの安全を見守っています。保護者への負担がまだまだ大きいことは今後の検討課題となっています。</p>	

令和5年度 豊浜小 実践写真

PTA役員会



PTA総会（リモート）



学級懇談会



交通安全を語る会



資源回収



親子奉仕作業



P T A 事 業 報 告

【 磐田市立竜洋東小 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
Web総会	○WebによるPTA総会:4月17日に議案書紙面にて配付(事業報告及び会計決算、活動方針及び会計予算、新役員の承認)→事務局にて質疑受付・回答→4月21日(金)コドモンのアンケート機能により「承認」「承認しない」の選択→全会員のうち、承認率87.6%により議案成立	134人
運 動 会	○閉会式の終わりに創立150周年記念植樹実施(10月21日開催)	多数
夏休み 「家族DE○○」 作品応募・審査	○夏休みに料理や工作、俳句や書道などを家族で取り組み、2学期始めに持参。PTA運営委員が作品を審査。応募作品35点の一つ一つにオリジナルの「○○賞」を授与した。12月11日～12月15日に児童向けに展示会を実施。展示後、参加賞(鉛筆立)とともに返却	応募 34人 審査員 6人
交 通 安 全 啓 発 活 動	○通学区会(2月19日)実施、通学路の安全確認	
	○通学班リーダーに、磐田警察署職員による旗振り指導(5月18日)実施	
	○街頭交通指導・あいさつ運動 月1回実施	
「袖浦の子 見守り隊」	○自治会の協力を得て、令和6年度「袖浦の子見守り隊」を募集	
地域と連携した 避難訓練	○学習支援ボランティア「持久走大会見守りボランティア」など	14人
	○保護者と連携して、地域にある津波避難タワー及び学校の屋上を確認した避難訓練の実施(2月19日実施)	
奉 仕 作 業	○校庭周辺の除草作業(5月20日有志、9月30日) 校舎内清掃(2月3日)	多数
資 源 回 収 ・アルミ缶収集	○年4回の資源回収:4月21日、6月27日、11月17日、2月16日	
	○児童がごみ減量・リサイクルの重要性を実感するため、また、福祉教育推進のため、回収箱を水曜校内に設置し、アルミ缶を回収	
広報紙・年間発行回数 0回		
資源回収・年間実施回数4回 PTA奉仕作業・年間実施回数3回		
授業参観会・年間回数 4回		
PTA研修室:ある ない	PTA関係資料・書籍等の保管場所: ある ・ない	
本年度のPTA予算 288,551円	PTA会費・年間1人(世帯)あたり 1,500円	
5年度の反省 (成果・課題)	<p>来年度の副会長を3名決めるときに、今までは1名会長候補を決めていたが、来年度取り組みながら3名で相談していくように変更した。また、会長と学校が共通理解する場があり、学校の現状を知ってもらえて大変良かった、</p> <p>今の時代にあったPTAにするには、どうすべきかを、単Pだけでなく市P連の中で協議する機会があれば良いと思う。</p> <p>・PTAの必要性 ・会費や支出内容 ・役員選考方法(正副制度?) ・通知からSNSへ ・学校へ意見を伝える仕組み</p> <p>・行事を学校、子供、保護者で一緒に作り上げる仕組み 等</p>	

令和5年度竜洋東小PTA活動の記録

【創立150周年記念事業①～④】

保護者が作詞作曲した記念歌斉唱①



「昔の写真コーナー」の玄関受付②



PTA会長の指導による袖浦温音頭③



保護者が見守る中での記念植樹④



夏休み家族で挑戦「家族DEOO」鑑賞



交通安全リーダーと語る会



保護者による家庭科ミシンボランティア



毎月1回生活指導委員による挨拶運動



P T A 事 業 報 告

竜 洋 西 小 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
・ 奉仕作業	・ 5月と9月に奉仕作業を行った。校内や運動場の清掃や整理等を行った。今年度も、草刈機を持ち寄っていただいたこと、道路河川課から5台の草刈機をお借りしたことで能率的に作業ができた。	372
・ 資源回収	・ 6月、11月、1月の年3回行った。車の進入経路を工夫して、1時間以内でスムーズに回収できた。	165
・ 学校保健委員会	<p>・ 6月 学府学校保健委員会を実施した。内容を2つの分科会（ゲーム・ネット依存、感情のコントロール）とし、保護者が希望する分科会に参加できるようにした。どちらの学府共通の健康課題で、両分科会とも大変好評だった。</p> <p>・ 9月 本校の学校保健委員会を実施した。常葉大学の赤塚めぐみ先生を講師に招いて「気になる子への理解と対応」についてのお話を聞いた。 子ども個々をよく知り、その子らしさの伸長のために心得るべきことについて学んだ</p>	55 62
・ 交通安全を語る会	・ 6月に実施した。ICTを活用しオンラインでの全体会、各地区ごとの話し合いを行い、交通安全に関する意識を高めることができた。	118
・ 町別児童会と通学路の安全点検	<p>・ 年2回（4月と3月の予定）行った。児童と共に集合時刻や場所、通学路の危険箇所の確認を行った。</p> <p>・ 「子ども110番の家」の所在を確かめた。</p>	453
広報誌・年間発行回数 0回 （その内、手づくり広報誌発行回数 0回）		
資源回収・年間実施回数 3回 P T A奉仕作業・年間実施回数 2回		
授業参観会・年間実施回数 3回		学級（学年）懇談会・年間実施回数 3回
PTA研修室 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない（○で囲む）		PTA関係資料・書籍等の保管場所 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
本年度のPTA予算 824,089円		PTA会費・年間1世帯あたり 1,200円
令和5年度の反省 （成果・課題）	<p>・ コロナが第5類になり、コロナ禍前の活動ができるようになった。PTA総会については5類移行前だったので、各教室でのオンラインの開催をしたが、スムーズに行うことができた。今年度も「子どもと共に成長」を合い言葉に親・子・教員・地域が一体となって取り組むことができた。今年度の経験や課題を今後の活動に生かしていきたい。</p> <p>・ 実家庭数の減少により、役員選出に対する負担を感じている会員が増えている。本年度より各部の副部長の数を2名から1名に減らした。今後もできるだけ負担が少なく活動がしやすい方向性を模索していく必要がある。</p>	

竜洋西小学校PTA活動の記録（令和5年度）

奉仕作業



例年通り、年2回の奉仕作業を行った。昨年度から草刈機を持ち寄っていただき、能率的に作業ができた。

資源回収



天候に恵まれ、順調に実施できた。車の進入方法を改善したり人員の配置を工夫したりしてスムーズに行うことができた。

学校保健委員会

「気になる子への理解と対応」について常葉大学の赤塚先生を講師に招いてお話を聞いた。
子ども個々をよく知り、その子らしさの伸長のために心得るべきことについて学んだ。



令和5年度 P T A 事業報告

竜洋北小学校

事業名	内 容	参加人数
○役員全体会	・令和5年度活動方針 及び活動計画の確認 スローガン「多様性の時代を ～共に育ち 深める絆」	35人
○交通安全指導 (生活指導部)	・毎月1回、地域の交差点や信号機付近での交通指導。	延べ20人
○参観会・懇談 会(学年部)	・参観会は4回実施(4、6、12、2月)。懇談会は3回(4月、6月、2月)。	全員
○交通安全リー ダーと語る会 (生活指導部)	・「交通安全リーダーと語る会」への参加(5月26日)。	30人程度
○アルミ缶回収 (整備部)	・毎週1回実施 児童が登校時にアルミ缶を持ってくるので、昇 降口前で回収。	
学府学校保健委 員会 (PTA会長・ 学年部・保健 体育部)	・学府学校保健委員会への参加(6月14日)。	20人
○資源回収 (整備部)	・年2回(6月、11月に実施)十束公園に集積して実施。	延べ80人
○学区内商店の 巡回(生活指 導部)	・夏休み中に校区内のコンビニやスーパー等を巡回して児童の様 子を見守る。	5人
○奉仕作業 (整備部)	・年1回(9月に実施)校庭の草取りや石拾い、校舎内の清掃(ト イレ掃除、ガラス拭き、埃落とし等)を実施。	160人
○運動会 (総務部、 保健体育部)	・テント設置等の準備及び片付け(10月21日)。	10人
○「子ども110 番の家」訪問	・「子ども110番の家」へのお礼と次年度の協力依頼(3月)。	5人
広報紙・年間発行回数	0回 (その内、手づくり広報紙発行回数	0回)
資源回収・年間実施回数	2回	PTA奉仕作業・年間実施回数 1回
授業参観会・年間回数	4回	学級(学年)懇談会・年間回数 3回
PTA研修室・	ある <u>ない</u> (○で囲む)	PTA関係資料・書籍等の保管場所 ある <u>ない</u>
本年度のPTA予算	239,047円	PTA会費・年間1人あたり 1,200円
5年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況が改善され、総会(各学級をつないでのリモート)や懇談会、運動会などで、感染前(令和2年度)の業態に近づけて活動できたのは喜ばしい。 ・一方で、コロナ感染の対策を考えていく中で、PTA会費の減額やPTA活動やPTA行事の精選等を行う機会となった。本年度は、奉仕作業を年1回にして集中作業を行った。来年度に向けて、資源回収に代わるコンテナの常時設置、学級PTA委員数の削減も検討している。 ・PTA役員を決めることに、今年度も時間を要した。小規模校でありながら、役員数はそれなりに確保されているので、来年度もPTA活動を精選し、役員数を現状に見合ったものにしていくなどの対応を考えていく。 	

令和5年度 主な活動

4/22 PTA総会

4/22 6/ 12/8 2/22 授業参観
会・学級懇談会(12月は授業参観のみ)
総務部・学年部及びPTA各員参加
4年ぶりにPTA総会が開かれ、新総務
部中心に活動がスタートしました。



5/26 交通安全リーダーと語る会 生活指導部参加

登下校の様子や危険箇所について、地域の方々にも加わっていただき、リーダーと活発に話し合いを行いました。

6月から毎週第2金曜日 アルミ缶回収 整備部参加

6/25・11/5 資源回収 9/3 PTA奉仕作業

総務部、整備部及び全PTA家庭 PTA各員の積極な参加が見られました。



<その他にも...>

① 6月より 年5回

あいさつ運動 総務部

② 6/ 学校保健委員会

会長・保健体育部・学年部



P T A 事 業 報 告 【 豊 田 南 小 】 学 校			
事 業 名	内 容		参 加 人 数
P T A 総 会	・まん延防止等重点措置が解除され、今年度は体育館への参集型で開催した。令和4年度専門部活動報告と決算が承認された。令和5年度役員、事業計画、予算の承認、P T A実践目標の承認を行った。		207 人
挨拶運動	・毎月初め、7時40分ころから、本部役員・常任委員で昇降口前、南門、北門において、児童に挨拶を呼び掛けた。		56 人
広報誌発行	・年2回P T A新聞「ポプラっ子だより」を発行した。学校行事や各学年の活動の様子を掲載した。		9 人
安全指導	・各地区の保護者や教職員が学区の危険箇所立ち、挨拶や交通安全指導をしたり、通学路の安全点検を行ったりした。		52 人
奉仕作業	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策や、熱中症対策を取りながら、学期に1回ずつ行った。		349 人
資源回収	・年間3回実施。新聞、雑誌、段ボール、古布、アルミ缶を回収した。		約 150 人
給食センター見学と試食体験	・子供たちが頂く給食がどのように作られ、配膳されているのか、詳しく知ることができました。引き続き食育の場として給食が重要な役割を果たすよう期待したいと思います。		9 人
広報紙・年間発行回数	2 回	(その内、手づくり広報紙発行回数	2 回)
資源回収・年間実施回数	3 回	P T A奉仕作業・年間実施回数	3 回
授業参観会・年間回数	4 回	学級(学年)懇談会・年間回数	4 回
P T A研修室・	(ある) ない (○で囲む)	P T A関係資料・書籍等の保管場所	(ある) ない
本年度のP T A予算	749,587 円	P T A会費・年間1人あたり	1,500 円
5年度の反省(成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・マックスバリュ幸せの黄色いレシートに応募し、3,400円寄付をいただいた。寄付金でペットボトルのお茶を購入し、奉仕作業に参加した保護者に配付した。 ・学区の危険箇所点検においては、報告、改善、成果が見える形になるようにしていきたい。 ・まん延防止等重点措置が解除されたが、学級懇談会への参加行事は思ったほど上がらなかった。参加しやすい魅力ある懇談会を企画していきたい。 		



P T A奉仕作業



マックスバリュ幸せの黄色いレシートで購入したペットボトルのお茶を奉仕作業に参加された方に配付

P T A 事 業 報 告 【 豊田北部小 】 学 校			
事 業 名	内 容		参加人数
総 会	○5 / 2 (火) 前後半の2部構成で実施。前半は、令和5年度役員承認や挨拶等を授業参観会に来校した全PTA会員参加の下、校内放送で実施した。後半は、令和4年度PTA会長、令和5年度本部役員、専門委員長、学校長他校内職員による代議員制で行い、令和4年度事業報告・令和5年度事業計画等が承認された。		*前半… 280人 *後半… 代議員制 約30名
資源回収	○2回(7月、12月)実施。地域の方の協力もあり、スムーズに資源を集めることができた。		各回 約100名
奉仕作業	○2回(6月、11月)実施。普段の児童と教員による清掃では難しい高所の外窓やトイレ掃除を保護者に行ってもらい、教育環境の美化につながった。		各回 約200名
PTA広報誌 「ながふじ」発行	○年1回139号を発行した。学校職員の紹介、各学年の活動の様子などを掲載した。		約10名
交通安全リーダーと語る会	○6月に開催。PTA本部役員、校外生活委員が参加し子供たちと共に地域の交通安全について話し合った。		約10名
運動会 持久走記録会	○運動会は、保健体育委員・PTAボランティアの協力により安全で円滑な運営を行うことができた。(11月下旬の持久走記録会は、感染症の流行を考慮して延期され、2月上旬に実施予定。)		約20名 約20名
学校保健委員会	○年間のテーマを「食」とし、2回(7月、10月)実施。7月は、ワークショップ(ヨーグルトの秘密・野菜を食べるコツ)の実施、10月は、「食事を見直そう」をテーマに給食試食会の実施。		各回 約80名
PTAあいさつ運動	○学府あいさつ運動と連携して実施。豊田中学校の生徒(生活委員)、北部小学校の児童(生活委員)、PTA校外生活委員が共に、正門や西門で、あいさつ運動(年3回)を展開した。		各回 約20名
参観会・懇談会	○年間2回(5月・2月)の参観会・懇談会を実施。 *加えて、各学年、年1回の自由参観会を実施。		各回 約350名
広報紙・年間発行回数	1回	(その内、手づくり広報紙発行回数	0回)
資源回収・年間実施回数	2回	PTA奉仕作業・年間実施回数	2回
授業参観会・年間回数	2回	学級(学年)懇談会・年間回数	2回
PTA研修室・ <u>ある</u> ない (○で囲む)	PTA関係資料・書籍等の保管場所 <u>ある</u> ない		
本年度のPTA予算	509,509円	PTA会費・年間1人あたり	1,200円
5年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ5類移行後の開催方法を工夫し、予定された事業計画をほぼ実施することができた。ながふじ学府学校保健委員会や学府あいさつ運動の開催など、小中が連携したPTA活動を実施することができた。 ・PTAへの入会が任意であることを確認するPTA会則の一部改訂に関する承認を紙上および保護者用連絡アプリで実施した。今後予想される任意加入によるPTA会員の長期的な減少等に対応した各専門委員会の事業内容、PTA役員の選出方法等の検討が必要。 		



令和5年度

豊田北部小学校 P T A活動の様子

7月 ながふじ学府学校保健委員会・ワークショップ「野菜を食べるコツ」



10月 学校保健委員会「食事を見直そう」・給食試食会の実施



P T A（校外生活委員）あいさつ運動
※学府あいさつ運動との連携
児童生徒（中学校・小学校）と共に



P T A 事 業 報 告 【 磐田市立青城小 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
挨拶運動	通学路の危険個所に挨拶安全委員が立ち、年間18回実施した。また、正門入口では、PTA三役と地区PTA会員による挨拶運動を年間12回行った。	約 180 人
学校保健委員会	6/22(木) 学校保健委員会 本校スクールカウンセラー（以後SC）による講演「愛着と子どもの心を育てる親子のかかわり」を実施した。愛着とレジリエンスの関係や褒め方、褒めポイント等を教えていただいた。保護者からは、叱りっぱなしのことが多かったため、叱った後に褒めることをセットにしていきたいという感想が多くみられた。	49 名
	10/12(木) 井通・青城学府学校保健委員会 本校区でSC指導のもと学期に1回実施している「こころの天気」（こころの天気描画法）について、SCによる講演及びワークショップを行った。「こころの天気」によって自分の気持ちに気付いたらどのようなことをすればよいのか等を教えていただいた。	49 名
交通安全リーダーと語る会	6/13(火)に実施した。5、6年生を対象に、磐田警察署交通安全指導員の方から横断旗の使い方などの指導を受けた。また、地区ごとに登下校中の注意点や危険箇所などについて、話し合った。	約 150 人
奉仕作業	年2回〔5/20(土)、9/2(土)〕の実施に加え、ボランティアを募集し、年数回、トイレ清掃や草刈り等を行った。	約 1,000 人
広報紙・年間発行回数	1 回	（その内、手づくり広報紙発行回数 0 回）
資源回収・年間実施回数	3 回	PTA奉仕作業・年間実施回数 2 回
授業参観会・年間回数	3 回	学級（学年）懇談会・年間回数 4 回
PTA研修室・	ある（ない）（○で囲む）	PTA関係資料・書籍等の保管場所（ある）（ない）
本年度のPTA予算	588,692 円	PTA会費・年間 1 人あたり 1,200 円
5年度の反省（成果・課題）	今年度はPTA予算で新たに草刈り機を購入し、奉仕活動等、学校の環境整備に役立てることができた。またPTA研修会で、本校の取組み発表を行い、他校のPTA役員と意見交換を図ることで今後の活動展望の参考にできた。一方、広報誌発行対応について、委員会ではなく三役主導で進めたため、対応に苦慮した。今後の課題としていきたい。	

挨拶運動



学校保健委員会



学区内 8 箇所で資源回収を実施



資源回収の収益を基に、草刈り機を購入

交通安全を語る会



P T A 事 業 報 告 【 豊田東小 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
P T A 総会	豊田東小体育館を使って開催・承認	約 260 人
本部会	6、7、9、12月、2月	45 人
奉仕作業	6、9月	約 100 人
資源回収	4、12月 7月は中止	約 60 人
学校保健委員会	7月	約 30 人
参観会	4月、6月、11月、2月 一斉参観を行う。	約 600 人
P T A 講演会	11月 「子供たちの未来を支えるレジリエンスとは」	約 100 人
あいさつ運動	4、7、9月、12月	60 人
こども 110 番	確認と啓発	9 人
制服リサイクル	リサイクル市 4月	約 80 人
広報紙・年間発行回数	0 回 (その内、手づくり広報紙発行回数 回)	
資源回収・年間実施回数	2 回 P T A 奉仕作業・年間実施回数	2 回
授業参観会・年間回数	4 回	学級 (学年) 懇談会・年間回数 2 回
P T A 研修室・	ある <u>ない</u> (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 ある <u>ない</u>
本年度の P T A 予算	342000 円	P T A 会費・年間 1 人あたり 1200 円
5 年度の反省 (成果・課題)	3 年ぶりに対面式で P T A 総会を行うことができ、2 回目の資源回収以外の活動はほぼ計画通り行うことができた。また、講演会では、多くの保護者が参加し、好評であった。次年度の役員選考が進まず、役員を選考するうえで、P T A 活動への理解と協力を保護者をお願いしていく必要を感じている。今後も無理のない範囲で活動を行っていきたい。	

(活動写真等)

PTA あいさつ運動 (4 月)



P T A 教育講演会 (11 月)



P T A 事 業 報 告		【磐田市立豊岡南小】 学 校	
事 業 名	内 容	参加人数	
総会（紙面審議） （4月） 授業参観・懇談会 【文化委員】 P T A新聞 「くすのき」発行 【生活委員】 挨拶運動 学府学校保健委員 会（9月） 交通安全の推進 交通安全リーダー と語る会（6月） 【施設・厚生委員】 資源回収 （6月・11月） 奉仕作業 （5月・9月・10月） 【本部】 P T A運営委員会 役員選出会 役員引継ぎ会 【学校応援団】 （P T Aボランティア） （見守り隊）	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に紙面審議で実施、挨拶はリモートで ※ 令和4年度事業報告・会計報告、令和5年度事業計画、 予算計画、役員承認など ・年間4回実施：平日（4月・6月・10月実施、2月実施予定） ※ 10月は自由参観会・親子活動（1・3・5年）懇談会なし ※ その他・・・歌声発表会実施（11月）懇談会あり ・年間2回実施（6月紙面発行、2月配信予定） ※ 行事での子どもの様子、職員紹介等 ※ 2月はコドモンにて配信予定 ・朝の登校時に昇降口前で子どもに挨拶 ※ 5月から月1回、第1水曜日に実施 ・保護者にも呼び掛け、通学路などで挨拶運動を行った。 ・「子どものレジリエンスを鍛えよう」講話とワーク ・各地区で朝の登校指導、横断旗の確認と補充 ・通学路危険箇所確認と登下校の様子、警察署講師の講話 （6年生参加） ・年間2回実施 ※ 豊岡南小を集積場所として使用 ・年間3回実施（9月は6年生の親子奉仕作業） ※ 10月は参加希望者による実施 ・年間4回（4月・10月実施、6月は中止、2月実施予定） ・次年度本部役員候補者の選考（10月） ・新旧本部役員の引継ぎ（3月予定） ・総合的な学習、生活科、家庭科、書写、体育科等の学習ボランティア への協力 ・朝の読書活動（読み聞かせ「おもえほ」）への参加 ・清掃指導 ・環境整備 	228世帯 教職員22人 文化委員3人 本部役員3人 生活委員・本 部役員9人 生活委員・本部 役員・学年委員・ 教職員18人 各地区保護者 地区委員長・本 部役員・教職員・ 6年生77人 各地区保護者 23人 20人 10人 約600人	
広報紙・年間発行回数	2回	（その内、手づくり広報紙発行回数	0回）
資源回収・年間実施回数	2回	P T A奉仕作業・年間実施回数	2回
授業参観会・年間回数	4回	学級（学年）懇談会・年間回数	4回
P T A研修室・	ある	ない（○で囲む）	P T A関係資料・書籍等の保管場所
本年度のP T A予算	964,381円	P T A会費・年間1人あたり	1800円
5年度の反省 （成果・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動を保護者の協力のもと、滞りなく行うことができた。 ・児童数、保護者数の減少を考え、P T A活動の精選と予算の見直しを行うこと で、持続可能なP T A活動を目指した。 ・P T A活動とは別に学校応援団の方たちに、行事支援、学習支援、環境整備 等で協力していただき、充実した教育活動を行うことができた。 ・次年度の活動の内容や方法を今後も改善していきたい。 		

PTA活動の様子



交通安全リーダーと語る会



学府学校保健委員会



資源回収



奉仕作業



親子奉仕作業



奉仕作業（ボランティア）

学校応援団（PTAボランティア・見守り隊）



読み聞かせ「おもえほ」



運動会テント設営



清掃指導



環境整備



体力テスト支援



米作り支援



水泳支援



ミシン縫い支援



書初め支援

P T A 事 業 報 告 【豊岡北小】 学校

事業名	内 容	参加人数
P T A 総会 (4月)	一斉に体育館に参集はせず、各クラスと本部をオンラインでつなぎ総会を行った。意見集約、提案内容の承認については、コドモンのアンケート機能を使用した。 ・令和4年度の報告 ・令和5年度の新役員と計画の承認	約 200 名
P T A 運営委員会 (4・9・2月)	年3回企画運営について協議を行った。	各回 約 40～50 名
懇談会 (4・7・12・2月)	学年 P T A 役員と学級担任とで協力して保護者懇談会を開催した。	各回 約 150 名
奉仕作業 (5・8月)	草取り・草刈りを中心に作業を行った。 2回とも都合が悪かった保護者へは個別に清掃を依頼した。	約 200 名
資源回収 (6・12月)	整備部員が回収場所での指示を出し、地区連絡係を中心に地区ごとに回収した。	各回 約 70 名
あいさつ運動 (毎月第1水曜日)	生活部員中心に、登校時校門付近にて実施した。	述べ 30 名
「大いちょう」 発行 (10月) (2月)	広報部員が、学校行事や各学年の紹介をするために作成した。本年度から紙面を紙媒体をやめ、PDF で各会員に配信した。	14 名
学校保健委員会 (9月)	生活部員が参集し、講師を招いて実施した。学級懇談会の折に会員に向けて報告をした。	各回 13 名
広報紙・年間発行回数	2 回 (その内、手づくり広報紙発行回数 0 回)	
資源回収・年間実施回数	2 回	P T A 奉仕作業・年間実施回数 2 回
授業参観会・年間回数	4 回	学級 (学年) 懇談会・年間回数 4 回
P T A 研修室・	ある (ない) (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 (ある) ない
本年度の P T A 予算	447, 749 円	P T A 会費・年間 1 人あたり 1, 800 円
5 年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部員、会員、先生方の協力により円滑に運営することができた。 ・コドモンを使用することにより、会員の意見、提案内容の承認を集約しやすくなった。 ・奉仕作業、資源回収など会員の積極的な参加により、学校環境の維持・改善ができた。 ・活動を通して、多くの目で子どもたちを見守ることができた。 ・仕事をもった会員が増えてきているため、参加しやすい活動を重視しながら計画性・継続性のある体制づくりを進めていきたい。 	

令和5年度 豊岡北小学校 実践写真

○整備部【資源回収、奉仕作業】



○広報部【運動会の撮影】



○生活部【学府学校保健委員会(オンライン)】



○生活部【あいさつ運動(毎月第一水曜日)】



P T A 事 業 報 告 【 磐田第一中 】 学 校			
事 業 名	内 容		参加人数
PTA 総会（5月）	【スローガン】あいさつは地域の合い言葉 R4年度活動報告・R5年度事業計画 感染症予防対策のため、一堂に会してではなく、各学級に分かれてリモートでの総会とした。		約 300 名
役員会・常任委員会（4～2月）	年4回（4・8・11・2月）PTA 活動の活動報告など		各回 約 30 名
奉仕活動（5、7月）	ボランティアを募り、計4日間グランド周辺の整備等を実施		約 50 名
あいさつ運動（5・9・1月）	校門や近くの交差点にて実施 学年ごと各学期に行った。元気よくあいさつする生徒の姿が見られた。		各回 約 100 名
資源回収（5・10・12月）	i プラザの駐車場を借りて実施 多くの方の御協力のもと、スムーズに行うことができた。		各回 約 200 名
広報誌発行（3月）	文化委員会が発行 1年間の学校行事やPTA活動などの様子を撮影し、計画通り発行した。		約 20 名
学校保健委員会（7・9月）	PTA保健体育委員会が出席して実施 7月・・・給食試食会 9月（学府：中部小にて）・・・静大小林教授を招いてレジリエンス研修会を実施した。		各回 約 60 名
学級懇談会（5・3月）	学年役員と学級担任で会を運営して開催		各回 約 300 名
合唱コンクール（11月）	受付、非常口、駐車場の係をボランティアを募って行った。		約 60 名
広報紙・年間発行回数	1 回		
資源回収・年間実施回数	3 回	PTA 奉仕作業・年間実施回数	4 回
授業参観会・年間回数	3 回	学級（学年）懇談会・年間回数	2 回
PTA 研修室・	ある <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> （○で囲む）	PTA 関係資料・書籍等の保管場	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> 所
本年度のPTA 予算	1,956,632 円	PTA 会費・年間1人あたり	2,400 円
5 年度の反省（成果・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの第5類移行に伴い、活動を以前の形に戻すことができた部分が多くあったが、活動の効率化や精選の観点から、リモートによる会合などを引き続き行った面もあった。運営の仕方も軌道に乗り、スムーズに行うことができた。 ・年3回の資源回収は計画通り実施することができた。回収量が年々減っていることや、多忙化の解消、生徒の事故防止等の観点から、来年度以降は行わない方向で検討した。 ・あいさつ運動では、多くの保護者の協力のもと予定通り実施することができた。 ・広報誌「さくらが丘」の発行は、今年度は年1回とし、来年度以降は行わないことを決定した。ネット・デジタル環境の普及により、今後は学校ホームページやコドモン等を利用しての情報発信ができると考えた。 ・奉仕活動や、行事運営における保護者ボランティアを募ったところ、多くの保護者の協力を得られた。 		

(活動写真等)

○学校保健委員会



○あいさつ運動



○資源回収



P T A 事 業 報 告				【 城山中 】 学 校	
事 業 名	内 容			参 加 人 数	
PTA 総会 (4月)	スローガン『コロナを乗り越えて、ニューノーマルの中での子供たちの健全育成を』 令和4年度活動報告、会計報告、会計監査報告、令和5年度事業計画、会計予算案、本部役員選出、承認			リモート開催	
制服リサイクル(4月・1月)	卒業生使用済みやサイズの合わない制服等のリサイクル			約 15 名	
PTA 運営委員会 (4月・10月・3月)	本部役員選出経過報告、PTA 事業計画、会計予算案、活動報告等			約 30 名	
いわた大祭り(4月)	手踊り (1年生)、大名行列、大祭り受付等のボランティア			約 30 名	
よつばプロジェクト会議 (5月・2月)	議題：学校経営方針、教育課程編成、組織編制、学校予算施設管理等			2 名	
校内体育大会(5月)	受付、PTA 広報写真撮影等			約 20 名	
見付天神裸祭 (8月・9月)	すがりの藁づくり (1年総合的な学習の時間) 地域ボランティア、1学年PTAがすがりの藁づくり指導			約 50 名	
資源回収 (7月・12月・2月)	2会場で実施。2回目の反省を受け、3回目は車の動線を変更して実施予定			約 100 名	
PTA 新聞発行 (9月・2月)	校内体育大会写真撮影、合唱コンクール写真撮影、生徒からの取材等			9 名	
合唱コンクール(11月)	駐車場誘導、会場係、PTA 広報写真撮影等			約 60 名	
広報紙・年間発行回数	2 回	(その内、手づくり広報紙発行回数	0 回)		
資源回収・年間実施回数	3 回	P T A 奉仕作業・年間実施回数	0 回		
授業参観会・年間回数	3 回	学級 (学年) 懇談会・年間回数	3 回		
P T A 研修室・	ある (ない) (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所	(ある) ない		
本年度の P T A 予算	2,351,000 円	P T A 会費・年間 1 人あたり	1,880 円		
5 年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・大名行列では、久しぶりに見付本通りで開催し、保護者ボランティアを中心に率先して活動できた。しかし中学生の行列参加希望者が少ないことが今後の課題である。 ・5月は会長が参加する会合が毎週あり、対応できない場合は副会長に協力を仰ぐことができた。毎週の会合は職種問わず対応が厳しいため、日程調整が必要である。 				

いわた大祭り関係 (ボランティア説明会・大名行列・中学生ボランティア)



すがりの藁づくり講座



制服リサイクル



よつばプロジェクト会議



令和5年度 P T A 事業報告

【向陽中】 学 校

事業名	内 容	参加人数
※新体制でスタート	・組織の再編2年後の事業がスタート 3つあった専門部の廃止（生活・文化委員会 広報委員会 施設・厚生委員会）	PTA 会員 145名
◇学校運営協議会への参加	・会長、副会長は地域、学校との「共育」を目指し、生徒の健全育成のために、生徒の様子や教育上の問題を話し合った。	各会 3名
◇PTA 総会	・オンラインでの PTA 総会を実施 決議についてもオンライン投票を実施したが、問題となることはなかった。	PTA 会員 145名
◇何でも相談会（5月）	・会長 副会長 支部委員 17 支部 が支部の情報交換、資源回収のやり方の確認、支部での困りごと等を出し合い情報交換を行った。	各回 20名
◇各行事へのボランティア参加	・各専門部が無くなった代わりに各行事に関わるボランティアを募集し対応（参観会出欠 消毒作業 文化発表会駐車場係 等）	延べ 約 50名
◇資源回収の実施	・資源回収を年2回実施し、収益金は生徒の諸活動費や教育環境整備のために支出した。	延べ 約 90名
◇学級懇談会の司会 あいさつ運動参加	・年2回 学級懇談会を実施し、話し合いが行われた。 ・年3回 学府あいさつ運動 生徒と一緒に参加した。	延べ 約 90名
広報紙・年間発行回数	0回	（その内、手づくり広報紙発行回数 0回）
資源回収・年間実施回数	2回	PTA 奉仕作業・年間実施回数 0回
授業参観会・年間回数	3回	学級（学年）懇談会・年間回数 2回
PTA 研修室・	ある ない （○で囲む）	PTA 関係資料・書籍等の保管場所 ある ない
本年度の P T A 予算	569,953 円	PTA 会費・年間1人あたり 1,800 円
令和5年度の反省 （成果・課題）	<p>PTA 総会はコロナ後、オンライン開催となった。次年度以降もこの形で良いと思う。</p> <p>本年度は、PTA の組織の再編後2年目ということで再編した組織がどれだけ機能し成果をあげることができるかが課題となる1年であった。今のところは大きな問題等は発生していない。</p> <p>課題は下記の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2年後の学府一体校を見据えた今後の向陽学府のPTA 活動についても来年以降も今年以上に協議していく必要がある。 ② PTA 役員の決定が年をおごと難しい状況となってきた。 魅力ある PTA 活動を考えていきたい。 ③ 会長、副会長の性別を取り外した規約の改正 	

令和5年度 向陽中 学校の様子 PTA 活動



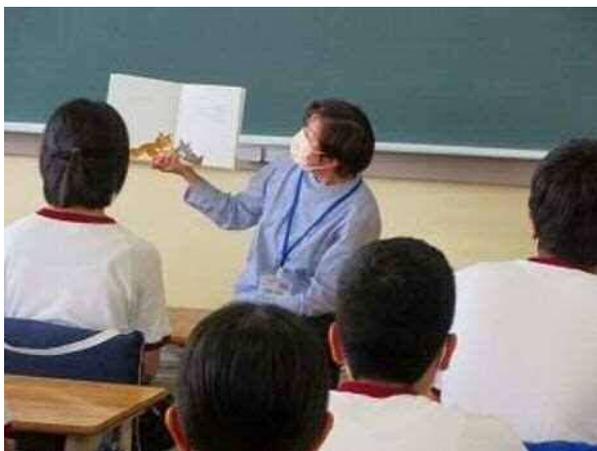
4月 授業参観会



学府あいさつ運動（大藤小にて）



体育大会「向陽ソーラン」



読み聞かせ 朗読会



2年後の一貫校開校に向けて現在工事中

P T A 事 業 報 告 【 神 明 中 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
P T A 総 会	5月2日(火)実施 総会はリモート形式で開催 同日に授業参観会、学級懇談会も実施	250名
緑風祭 (体育大会)	5月19日(金)開催。 コロナ感染防止以前の形式で、通常の保護者参加及び観戦	750名
資源回収	第1回 6月 3日(土)実施 第2回 9月 9日(土) →コロナ感染防止のため中止 第3回 12月 9日(土)実施	2年担当 3年担当 1年担当
挨拶運動	正門にて実施(近隣道路工事のため北門はなしとした。) 第1回 6月 1日(木)実施・・・3年生 第2回 8月29日(火)実施・・・2年生 第3回 1月10日(水)実施・・・1年生	各学年保 護者参加 各回5名
親子ふれあい 奉仕作業	9月2日(土)実施 コロナ感染防止明けの初実施。 学校内外の草刈りを計画し1年生の保護者、生徒が参加。	200名
学校保健 委員会	8月30日(水)学校保健委員会講演会参加を計画実施 昨年度はコロナ過で未実施であったが、本年は開催した。	20名
鈴歌祭 (合唱コンクール)	10月27日(金)実施 運営委員・学年委員で会場運営を計画、実施に至った。 昨年度まではコロナ過であり制限のある開催であったが、本年は 「かたりあ」を会場に多くの保護者に参観していただいた。	役員 30名 参観者 750名
おやじの会	新規会員募集(5月) おやじの会講話 3月 8日(金)実施予定 卒業式の後、卒業生に紅白饅頭を贈呈予定	全校生徒 15名
広報紙・年間発行回数	0回 (その内、手づくり広報紙発行回数	0回)
資源回収・年間実施回数	2回	P T A 奉仕作業・年間実施回数 1回
授業参観会・年間回数	3回	学級(学年)懇談会・年間回数 3回
P T A 研修室・	ある <u>ない</u> (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 <u>ある</u> ない
本年度の P T A 予算	721,946円	P T A 会費・年間1人あたり 1,200円
5年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 役員を中心に協力して活動に取り組むことができた。 ・ 昨年度はコロナ過のため多くの活動に制限があり、未実施の活動もあったが、本年はコロナ前の活動にほぼ戻って、どの内容も実施することができた。特に体育大会や合唱コンクールなど生徒が活躍する場面を、多くの P T A 会員の保護者の皆様に参観していただけたのは大きな成果であった。 ・ P T A 活動がコロナ過により、かなりスリム化された。今後に向けて、取り組み内容の精査が今一度必要になってきていると考える。 	

令和5年度 磐田市立神明中学校PTA活動の記録



① 5月19日 緑風祭（体育大会）



② 6月3日 第一回資源回収



③ 9月2日 親子ふれあい奉仕作業1



④ 9月2日 親子ふれあい奉仕作業2



⑤ 10月27日 鈴歌祭
（合唱コンクール）



⑥ 12月9日 第三回資源回収

P T A 事 業 報 告 【 南 部 中 】 学 校			
事 業 名	内 容		参 加 人 数
PTA 総会(5月)	<スローガン新しく始まる未来のために>		185名
常任委員会	年4回(4・7・11・1月)企画運営についての協議を行った。		26名
あいさつ運動&交通指導	年3回(4・9・1月)学期初めの3日間にわたり、生活指導委員会を中心に、校門周辺及び通学路にて実施した。		17名
資源回収	年3回(5・9・2月)実施した。		30名
あじさい新聞発行	歴史あるあじさい新聞ですが、文化広報委員会の廃止に伴い、1学期発行の105号をもって発行を終了した。		20名
緑友祭(合唱)	10月なぎの木会館で実施された緑友祭(合唱コンクール)の非常口係を、生活指導委員と学年PTA委員が担当した。		36名
広報紙・年間発行回数	1回	(その内、手づくり広報紙発行回数	1回)
資源回収・年間実施回数	3回	PTA奉仕作業・年間実施回数	0回
授業参観会・年間回数	4回	学級(学年)懇談会・年間回数	2回
PTA研修室・ある	ふい(○で囲む)	PTA関係資料・書籍等の保管場所	ある(○で囲む) ない
本年度のPTA予算	1,113,600円	PTA会費・年間1人あたり	2,400円
5年度の反省(成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少とそれに伴うPTA会員数の減少を考え、文化広報委員会は今年度で廃止とした。今後は学校ホームページで生徒の様子は発信していく。 ・資源回収の収益が年々減少している。SDG'sの観点からも継続して活動していく方向ではあるが、活動方法の見直しが必要と思われる。 		

(活動写真等)

資源回収



P T A 事 業 報 告 【 福 田 中 】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
・ P T A 総会 (5月)	・授業参観会後に P T A 総会を各学級の教室にてリモート開催。事前に資料と承認確認をコドモンより各家庭に配信。総会にて各議案の承認結果を発表。	約 300 名
・ 運営委員会 (年 5 回)	・ 運営の方針確認と、各専門部の活動計画・報告。 昨年度と同様に 5 回(4, 5, 8, 9, 12 月)実施。	各回 13 名
・ 学級懇談会 (5・2月)	・ 5 月は、全学年授業参観会後に各学級にて懇談会を実施。 ・ 2 月は、1・2 年が授業参観後に学級懇談会。3 年はなし。	
・ 制服リサイクル (5・1月)	・ 10 月の衣替え期間と 3 月の春休み期間に、制服の回収受付。 ・ 5 月の学級懇談会後と 1 月の新入生説明会後に制服リサイクルを実施し、希望者に供与。	
・ 挨拶運動・交通指導 (6・9・12月)	・ P T A 生活部主催の挨拶運動・交通指導は年 3 回実施。	各回約 50 名
・ 資源回収 (5・10・2月)	・ 5 月・2 月は、第 2 集荷場を本校と福田漁港駐車場の 2 か所に分けて実施。第 2 集荷場では P T A 運営委員・環境部員、担当学年の教員と生徒が分類集荷を手伝った。 ・ 10 月は、一週間コンテナ据え置き型で資源回収を行った。	各回約 300 名
・ 体育大会 (5月)	・ 種目を精選して午前のみ開催。保護者の参観は自由。	
・ 学府保健委員会 (7月)	・ 福田中央交流センターにて寺田浩晃氏を講師に招き、「心の拠り所」という観点から、子供への接し方や物事に対する捉え方、コミュニケーションの大切さを研修。P T A 運営委員・学年委員が参加。	約 20 名
・ かしわ祭 合唱コンクール (10・11月)	・ インフルエンザによる学級閉鎖のため、2 年生のみ予定通り実施。1・3 年は学年別時間差開催。他学年は後日、給食時に録画を視聴。保護者は自由参観。	約 200 名
広報紙・年間発行回数	0 回	(その内、手づくり広報紙発行回数 0 回)
資源回収・年間実施回数	3 回	P T A 奉仕作業・年間実施回数 0 回
授業参観会・年間回数	2 回	学級(学年)懇談会・年間回数 2 回
P T A 研修室・	ある ない (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 ある ない
本年度の P T A 予算	362,500 円	P T A 会費・年間 1 人あたり 800 円
5 年度の反省 (成果・課題)	<p>・ P T A 総会では、資料をデータ化して配信し、承認集計もネット経由で行うことで、効率化できた。</p> <p>来年度は、P T A 総会を設けず、コドモンで議案書の配信と信任投票を実施し、信任結果もコドモンで配信する。新役員や職員紹介の実施は検討中。</p> <p>・ 入学式、卒業式での P T A 会長の祝辞の実施は、会長の任意とし、事前に確認する。</p> <p>・ 資源回収を 3 回のうち 10 月は、コンテナ据え置き型を試行した。保護者や教員、生徒たちの労力は削減されたが、収益は減った。</p> <p>来年度は、コンテナ据え置き型のメリット・デメリットも踏まえて検討中。</p> <p>・ 役員決めが大変難航した。また教員側からも、P T A 学年委員の廃止を希望する意見もあり、P T A 組織を見直す時期かもしれない。</p>	

(活動写真等)



【PTA 挨拶運動・交通指導】

年2回、生活部員と運営委員が生徒の通学路に分散して立ち、登校する生徒の安全を見守りながら声を掛けた。



【資源回収】

5月・2月は、第2集荷場を本校と福田漁港駐車場の2か所に分けて実施。第2集荷場ではPTA運営委員・環境部員、担当学年の教員と生徒が分類集荷を手伝った。また、10月は、コンテナ据え置き型で資源回収を行った。



【はまぼう学府保健委員会】

福田中央交流センターにて寺田浩晃氏を講師に招き、「心の拠り所」という観点から、子供への接し方や物事に対する捉え方、コミュニケーションの大切さを研修。PTA運営委員・学年委員が参加した。



【かしわ祭合唱コンクール】

インフルエンザによる学級閉鎖のため、2年生のみ予定通り実施。1・2年は学年別時間差開催。他学年は後日、給食時に録画を視聴。保護者は自由参観。

P T A 事 業 報 告 【 竜 洋 中 】 学 校			
事 業 名	内 容		参 加 人 数
P T A 総 会	<スローガン> いまできることをしていこう！！ 対面会合形式での総会を廃止。ペーパーでの資料配付も廃止。コードモン資料箱に総会資料をアップし、後日、コードモンでの承認クリックでの同意確認を行った。参加(回収)率 88.9%、承認 100%、未記入 0%。5月19日決議結果を保護者に報告。		393名
役員全体会	年2回(4・2月) 事業計画と反省の検討および意見交換。 ※人数を減らし正副会長・地区委員長・専門委員長・職員のみ		18名
運営委員会	年3回(4・10・2月) 活動経過報告と意見交換。		18名
親子奉仕作業	5月13日 1年生親子奉仕作業実施。 9月2日 2,3年生親子奉仕作業実施。		約100名 約250名
翔竜祭 (体育大会)	5月19日。P T A 種目の実施なし。		約450名
竜洋学府学校 保健委員会	6月14日、なぎの木会館と竜洋中を会場にして実施。4つの分科会を設けたため、2会場での開催。		約150名
資源回収	年2回(5・12月) 昨年度より回数を減らした。1回目は昨年と同様、回収場所を校内グラウンドのみとした。2回目は地区委員の地区回収をやめ各自搬入のみとした。回収量は減ったもののトラブルなく、役員負担減。		約80名
輝竜祭 (合唱コンクール)	10月20日、なぎの木会館で実施。午前に1・2年、午後3年生の合唱発表をした。保護者は該当学年のみ参観。PTA 学年委員、広報委員、総務が駐車場係、非常扉係、受付係を担当し運営協力をした。係の役員には名札配付、特別席での優先参観が可能。		参観 約450名 係40名
役員引継ぎ会	P T A 総務、地区委員長、専門委員長のみの少人数での開催。全体会を短時間で行い、地区委員長、専門委員長の引き継ぎを分散会形式で実施する予定。		24名
広報紙・年間発行回数	R5年度より廃止		
資源回収・年間実施回数	2回	P T A 奉仕作業・年間実施回数	2回
授業参観会・年間回数	3回	学級(学年)懇談会・年間回数	3回
P T A 研修室・(ある) ない (○で囲む)	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 (ある) ない		
本年度のP T A 予算	812,172円	P T A 会費・年間1人あたり	1,500円
5年度の反省 (成果・課題)	P T A 改革の2年目にあたり、P T A 会費の減額。資源回収を1回減らし2回とし2回目は地区回収を止めた。P T A 広報誌を廃止。学年委員の半減、来年度地区委員、専門委員数を半減。P T A 総会 Web 上での実施、承認も Web 上で行った。P T A 活動の必要性や現在ある、無理や無駄なことを検討し、P T A 活動のスリム化の実現。次年度は、広報委員会、厚生委員会の統合、街頭指導の回数の見直し、P T A への加入意思の明確化に取り組んでいく。		

輝竜祭での保護者受付(P T A 学年委員)



資源回収積みおろし(厚生委員)



P T A 事業報告		【 磐田市立豊田中 】 学校
事業名	内 容	参加人数
資源回収 3回/年	整備委員会の活動として、年3回の資源回収を実施した。事故を防ぐため、役員の配置に気を配った。5月21日(日)、10月28日(土)、1月13日(土)に実施した。生徒は学年ごとに参加した。	約40人 整備委員 13人
学校保健委員会 2回/年	7月26日(火)の学府学校保健委員会は、『今こそ大事免疫力をupしよう』をテーマに明治乳業の河津祐子先生、伊藤園の日吉夏澄先生に講演をしていただいた。12月7日(木)の校内学校保健委員会は、『思春期に必要な栄養について』を管理栄養士の小林先生に講演を行っていただいた。給食センターの調理場の見学や給食を試食することを通して、思春期に必要な栄養を意識して食事を作ることが大事だと思った。	21人 厚生研修委員 7人
校内体育大会 1回/年	本校グラウンドで5月18日(木)に行った。晴天の下盛大に行われた。保護者の観戦エリアを拡大して観戦できたので、生徒の応援に力が入った。	
ながふじ音楽祭 1回/年	かたりあで、ながふじ学府一体校の音楽祭を2日間開催した。学級PTA委員の有志が保護者席への誘導を行った。	
広報誌 「かけはし」発行 1回/年	1月に第91号の「かけはし」を発行した。マスクがはずれて笑顔が見られるようになった。子供たちの笑顔を沢山届けたいという思いで編集した。体育祭では子ども達の輝く姿をたくさん掲載することができた。わかりやすく親しみやすい広報誌を発行できるように心がけた。	文化委員 7人
あいさつ運動 3回/年	健全育成委員会の計画で、5月25日(木)、12月7日(木)、2月1日(木)にあいさつ運動を行った。登校する生徒たちとあいさつを交わすことで、生徒と良い関係を構築した。	健全育成委員 7人
広報誌・年間発行回数	1回	(その内、手作り広報誌発行回数 0回)
資源回収・年間実施回数	3回	PTA奉仕作業・年間実施回数 0回
授業参観会・年間回数	2回	学級(学年)懇談会・年間回数 2回
PTA研修会・	ある (<u>ない</u>) (○で囲む)	PTA関係資料・書類等の保管場所 (<u>あり</u>) ない
本年度のPTA予算	945002円	PTA会費・年間1人あたり 1,800円
5年度の反省 (成果・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、PTA総会を代議員制にして実施した。 ・各専門部は、委員長を中心に協力し、責任をもって活動に取り組むことができた。 ・一体校として、PTA組織も小中で連携していく必要がある。 	

豊田中学校 P T A 活動の様子 令和5年度

あいさつ運動 5月25日(木)



年3回実施しました。生徒たちと明るい挨拶を交わり、笑顔で見送りました。

資源回収 5月21日(日)



年3回(5月・10月・1月)行いました。生徒たちは手際よく働いてくれました。

校内体育大会 5月18日(木)



晴天の下での開催となり、多くの保護者が観戦しました。

学校保健委員会 12月7日(木)



給食センターを見学した後、生徒と同じ給食を試食しました。

代議員制 P T A 総会 4月28日(金)



代議員による P T A 総会を実施しました。

ながふじ音楽祭 10月20日(金)



2日間開催したながふじ音楽祭、すばらしい演奏に感動しました。

P T A 事 業 報 告				【 豊田南中 】		学 校	
事 業 名		内 容		参 加 人 数			
・ P T A 総会		・ 5月1日(月)。新型コロナウイルス感染症予防のため、リモート開催。リモート決議を行った。		リモート決議に220名参加			
・ 運営委員会 (年3回)		・ 4月18日(火) ・ 10月12日(木) ・ 2月27日(火)(予定)		11名 11名 20名			
・ 地区委員会 (年2回)		・ 6月2日(火)、1月16日(火)。2回実施。6月は土砂災害警戒警報が発令されたため中止。1月は来年度の地区委員の所属専門委員会決定のため19時から開催。		約44名			
・ 環境整備委員会		・ 5月親子奉仕作業(1年生保護者、生徒)雨天のため中止。 ・ 資源回収 5月、9月、12月に実施。		約400名			
・ ふれあい委員会		・ 挨拶運動 4月、5月、8月、10月、11月、1月に実施。 ・ 9月24日(日)に校地周りの垣根に標語を掲示、交換。		約10名			
・ 広報委員会		・ 広報誌「はばたき」をpdfファイルで年4回、コドモン配信。 ・ 体育大会、虹南祭(合唱コンクール)等取材、写真撮影。		6名 6名			
・ 健全育成委員会		・ 夏休み夜間巡視(3回)。 ・ 郷社祭典時巡視(前日及び当日)。		6名 6名			
・ 学年委員会		・ 学級懇談会の進行。 4月 全学年 10月 2年 2月 1・2年(予定)		28名 28名 10名			
広報紙・年間発行回数		4回 (その内、手づくり広報紙発行回数		0回)			
資源回収・年間実施回数		3回 P T A奉仕作業・年間実施回数		0回			
授業参観会・年間回数		3回		学級(学年)懇談会・年間回数		2回	
P T A研修室・ある		ない(○で囲む)		P T A関係資料・書籍等の保管場所		ある(○) ない	
本年度のP T A予算		1,389,900円		P T A会費・年間1人あたり		2,400円	
5年度の反省 (成果・課題)		<p>5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法で第5類になったため、昨年よりも制限がなく、P T A行事を実施することができた。1年生の親子奉仕作業、6月2日の学級懇談会、部活動懇談会、地区委員会が、悪天候により中止になったため、大勢で集まることができなかった。資源回収については3回行うことができたが、委員会によっては、予定通りの活動を行うことができなかった。また、昨年に引き続き、磐田市民文化会館「かたりあ」で合唱コンクールを開催し、交通指導係や駐車場係、会場係など、保護者ボランティアを募集し、気持ちよく協力していただいた。広報誌をコドモン配信にしたことで、紙媒体での発行と比較して大きく経費を削減できたことは、ひとつの成果であると考えている。</p> <p>P T A役員の方々は学校の活動に大変協力的であったが、参加するために大変苦勞されていたようで、この点は今後の課題である。会合回数や報告書等を含め、P T A活動の在り方を見直し、スリムで真に子どもたちに還元され、保護者も積極的に参加できる活動にしていくことが重要であると考えている。</p>					

令和5年度 豊田南中学校PTA活動（活動写真等）

資源回収（年3回）



ボランティア活動



挨拶運動（年6回）



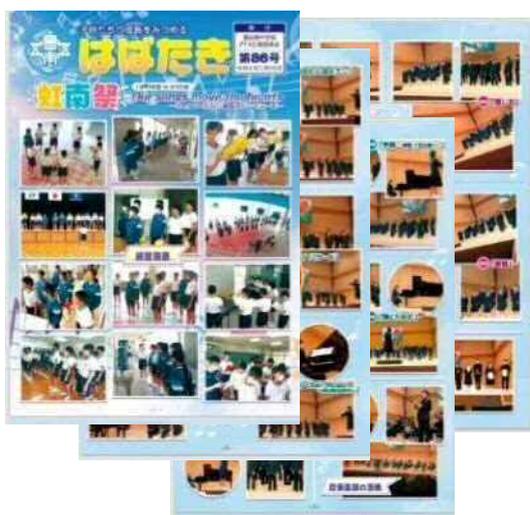
標語看板掲示



学校行事



広報誌作成



P T A 事 業 報 告

【豊岡中】 学 校

事 業 名	内 容	参加人数
・ P T A 総会	・議案書を配付し、紙上での開催とした。承認書の提出をもって、各議案の承認をとった。	約 300 名
・ 愛校作業	・ 2 回の予定であったが、1 回のみ実施した。 5 月 14 日（日）1 年生 →雨天中止 8 月 28 日（日）2 年生	約 100 名
・ 授業参観	・ 学校公開日として 3 回実施した。 ・ 学級懇談会は年度当初に 1 回実施した。	約 200 名 約 200 名
・ 資源回収	・ 2 回実施した。P T A 厚生委員会が担当した。 1 回目 9 月 9 日（土） 2 回目 1 月 28 日（日）	約 100 名
・ 体育大会	・ 5 月 19 日（金）、23 日（火）と 2 回延期し、5 月 25 日（木）に実施した。開会式で会長が挨拶した。 ・ 自由参観とした。	1 名
・ 学校保健委員会	・ 1 回実施 9 月 12 日（火）とよおか学府合同、リモート形式で実施した。 テーマ「子供のレジリエンスを鍛えよう！ ～自己効力感の高め方～」 講 師 日本レジリエンスエデュケーション協会代表理事 山本 千香子さん 参加者 とよおか学府内小中 P T A 役員	86 名
・ 合唱コンクール	・ 自由参観とした。	約 200 名
・ 街頭指導	・ 5 月、8 月に実施した	10 名
・ 挨拶運動	・ 1 回実施。P T A 生活委員が健全育成部会と合同で実施していた。（11 月）	10 名
・ 標語募集	・ 「親子で作る携帯・スマホに関する標語コンクール」応募。	
・ P T A 広報誌 最終号発行	・ P T A 文化委員会による作成・発行。主に、学級や学校行事の紹介などを中心に写真を多用し、読者を飽きさせないよう工夫した。今年度はカラー 4 ページで 1 回発行し、最終号とした。	
広報紙・年間発行回数	1 回	（その内、手づくり広報紙発行回数 0 回）
資源回収・年間実施回数	2 回	P T A 奉仕作業・年間実施回数 1 回
授業参観会・年間回数	3 回	学級（学年）懇談会・年間回数 1 回
P T A 研修室・	ある <u>ない</u> （○で囲む）	P T A 関係資料・書籍等の保管場所 <u>ある</u> ない
本年度の P T A 予算	919,730 円	P T A 会費・年間 1 人あたり 1,800 円
5 年度の反省 （成果・課題）	<p>5 月 7 日まではコロナ感染拡大防止に留意しながら、各行事を実施した。例えば、参観会は、1 日学校公開日に変更し、参観者の分散を図って実施した。5 月 8 日以降は、コロナ禍以前に近い形で実施した。</p> <p>P T A 広報誌はページ数を減らし、見開き 4 ページの最終号を作成し、来年度から広報誌は廃止となる。</p> <p>本部役員を中心に、各委員会において役員と教職員が協力して諸活動に取り組み、確実な成果を収めることができた。</p>	



校内体育大会・P T A会長あいさつ



校内体育大会・保護者自由参観



学府合同学校保健委員会・リモートの様子



学府合同学校保健委員会・講話



P T A資源回収の様子

P T A 事 業 報 告 【 磐 田 東 中 】 学 校			
事 業 名	内 容		参 加 人 数
中学部全体会 (5月) 新旧理事会 (5月) 総会(5月) 理事会 (6・11月) 広報誌発行 (年3回) 合唱コンクール (7月) 職業講演会 強歩会 (10月) サロンコンサート (11月) 学校保健委員会 (12月) 入学者説明会 (1月) 役員会・全体会 (2月)	本部・広報・生活・支援委員会の会議 各部委員長・副委員長の紹介・活動計画(委員会ごとの入れ替え制) 中高校合同理事会(新旧中学部長・副部長参加) 中高合同の総会。事業報告、計画、予算案等 中高校合同理事会(中学部長・副部長参加) 広報誌の発行(広報委員会) 審査員参加 生活委員会・本部にて講演会の開催。講師の選出、当日の進行等行った。 1年支援部とボランティアによる強歩会 (1年生対象の日坂～学校まで26kmのウォークラリー)の手伝い 視聴覚室にてミニコンサート(ピアノ)(生活部)		のべ約40名 2名 2名 約12名 支援部4名・ ボランティア 約10名 2名 約8名 のべ約15名
広報紙・年間発行回数 資源回収・年間実施回数 授業参観会・年間回数 P T A 研修室・ある(○)ない(○)で囲む 本年度の P T A	3 回 0 回 0 回 ある(ない)(○)で囲む 550,000 円	(その内、手づくり広報紙発行回数 P T A 奉仕作業・年間実施回数 学級(学年)懇談会・年間回数 P T A 関係資料・書籍等の保管場所 P T A 会費・年間1人あたり	0 回 0 回 0 回 ある(ない) 3,600 円
5年度の反省 (成果・課題)	令和2年(2020年)から続くコロナ生活を引きずりつつはじまった令和5年度は、お互いの顔色を見ながら、様々な行事を解禁していく1年となりました。無事に行われた強歩会では、ゴールの直後の自信に満ち溢れた顔が印象的でした。しかし、校内体育大会は直前で父兄の見学が出来なくなるなど残念な思いをさせていただきました。このような不安定な状況の中でも、子供達は精神的にも、肉体的にも強く、たくましく成長してくれた事を嬉しく思います。時には不安や不満を抱える子供たちに、常に愛情を注いで接してくれた教職員の皆様に感謝するとともに、私は、家庭と学校が一体となって子供たちに関わる大切さを知りました。卒業までの残された時間を一緒に楽しんでいきましょう。		

(活動写真等)
《強歩会》



《サロンコンサート》

